

2022年10月
～ 2023年3月
秋冬版

祈りの回廊

きつかけは壬申の乱

源義経と大和の国

奈良から伝える文化財

「特別講話」

村屋坐弥富都比売神社 宮司 守屋裕史氏

矢田寺(金剛山寺) 山主前川真澄師

奈良大和路の「秘宝・秘仏特別開帳」

まいつかけは

壬申の乱!

今から1350年前の672年、古代最大の内乱が起こりました。天智天皇が崩御した後、天智天皇の弟の大海人皇子と、子の大友皇子とが、皇位継承をめぐる戦いをしました。千支暦の「壬申」の年に起きたため、「壬申の乱」と呼ばれています。

『日本書紀』の巻二十八(壬申紀)によると、天智天皇は崩御の間際、皇位を大海人皇子に譲りたいと伝えました。しかし、事前に忠告をうけていた大海人皇子は皇位継承を固辞して出家し、近江の都から吉野に逃れます。天智天皇の崩御から約半年後、身の危険を察知した大海人皇子は吉野で挙兵します。その後、約一か月の戦いを経て、大海人皇子は勝利しました。

大海人皇子は天武天皇として即位し、様々な制度の改革を行いました。在位中の前半は権威の確立のために儀式や祭祀の制度を形づくり、中には、現在に至るまで続いている祭事などもあります。後半は都づくりや、歴史書の編纂、国境の整備、八色の姓の制定など、後世に引き継がれていく事業がはじまります。

天武天皇と、跡を継いだ皇后の鸕野讃良皇女(持統天皇)が執政した地である奈良で、「壬申の乱」の勝利をきっかけにはじまったことや、それらにまつわる場所を紹介します。



「天皇」木簡 飛鳥池遺跡出土
天皇という称号は天武天皇の時代から使われた説がある

|| 祭祀① || 齋宮制度

「齋宮」は、天皇の即位時に皇族の女性から選ばれる、天皇の御代を伊勢で祈る皇女のこと。崇神天皇の時代の倭姫命から南北朝時代まで続きますが、制度化して最初の齋宮は天武天皇の皇女の大来皇女です。

大来皇女が伊勢に向かう前に初瀬で潔齋(身を清めること)した記述が『日本書紀』にあり、大来皇女を祀る小夫天神社にも伝承が残ります。また、脇本遺跡からは七世紀の建物跡が出土しており、大来皇女の初瀬齋宮跡の一部と考えられます。



脇本遺跡

※現在は埋め戻されています

P19 a-2

桜井市脇本



小夫天神社

P21 a-1

桜井市小夫3147



いこまたいしや
往馬大社

P20 田 a-2

📍 生駒市春分町 1527-1
☎ 0743-77-8001



きよみ ほらじんじや
浄見原神社

P20 田 d-2

📍 吉野郡吉野町南国栖 1
☎ 0746-32-3081



かっぺ じんじや
勝手神社

P20 田 c-2

📍 吉野郡吉野町吉野山 2354
☎ 0746-32-3024 (吉水神社)



かしはらじんぐう
檀原神宮

P19 田 a-1

📍 橿原市久米町 934
☎ 0744-22-3271

宮中に国栖の人々が召され、その舞を「翁の舞」として宮中の儀式などで行われるようになりました。一時断絶したこの舞は地元で伝えられ、毎年旧正月十四日に浄見原神社で「国栖奏」(奈良県指定無形民俗文化財)として奉納されます。

大嘗祭の一環の「大饗の儀」では、五節舞、久米舞などの歌舞が奏されます。五節舞は、天武天皇が吉野で琴を弾いた時に、天女が飛来して袖を五度翻して舞ったことが由来です。吉野山の勝手神社の後方にある袖振山がその舞台と伝えられています。また、「古事記」「日本書紀」にも記された来目歌(久米歌)が起源とされる久米舞は、現在では宮中の他に檀原神宮でも年に二度、4月29日の「昭和祭」と11月23日の新嘗祭で奉奏されています。

(※) 醴酒：一夜でつくる酒

収穫を感謝し、新たな年の豊穡を宮中で祈る「新嘗祭」は、天皇が即位する年には大規模な「大嘗祭」として執り行われます。天武天皇はそれまで行われてきた「新嘗祭」を、即位にあたって天皇と民の関係を明確にする

儀式「大嘗祭」としました。天武天皇の時代には毎年大嘗祭を実施しています。大宝律令の制定後、即位時に行う一世一代の儀式になりました。大嘗祭では新穀を奉る産地を「斎田点定の儀」という占いで選びます。占いに使う波々迦木(上溝桜、朱桜)は、往馬大社と、天香久山神社(橿原市)から献上されています。大嘗祭の「大嘗宮の儀」では「国栖の古風」が奏上されます。応神天皇が吉野に行幸した時、国栖の人々が醴酒(※)を献上し歌ったことが由来の舞です。壬申の乱以後、宮中に国栖の人々が召され、その舞を「翁の舞」として宮中の儀式などで行われるようになりました。一時断絶したこの舞は地元で伝えられ、毎年旧正月十四日に浄見原神社で「国栖奏」(奈良県指定無形民俗文化財)として奉納されます。



国栖奏



たつ たたいしや
龍田大社

P19 田 b-2

📍 生駒郡三郷町立野南 1 丁目 29-1
☎ 0745-73-1138



ひろ せたいしや
廣瀬大社

P19 田 c-2

📍 北葛城郡河合町川合 99
☎ 0745-56-2065

現在も龍田大社では風鎮大祭、廣瀬大社では大忌祭(砂かけ祭)として祭事が行われています。

儀式 即位の儀式 大嘗祭



宮滝
吉野川上流の景勝地。周辺に斉明天皇の時代に造営した吉野宮がありました。大海人皇子が壬申の乱の際に挙兵した地です。

祭祀② 風神・水神を祀る

『日本書紀』天武天皇4(675)年に風神を龍田立野に祀り、水神である大忌神を広瀬河曲に祀ったとあります。ともに崇神天皇の時代に創建された神社で、大和川から風が通る場所にある龍田大社と、奈良盆地の川が合流する場所にある廣瀬大社を指します。天武・持統天皇の時代から、これらの要所で、国家安泰、五穀豊穡が祈願されてきました。

天武天皇と持統天皇の都づくり

大海人皇子は壬申の乱の勝利後、飛鳥浄御原宮で即位します。同じ場所には、舒明天皇、皇極・齐明天皇も宮を置いていました。飛鳥浄御原宮は、天武天皇が齐明天皇の宮殿（内郭）をそのまま利用しつつ、エビノコ大殿（※）という建物を増設し、官衙群（役所）も整備した宮です。複数の時代の宮が同じ場所にあるため、史跡名称は「飛鳥宮跡」になっています。

その後、新たな都の造宮がはじまりました。皇居と官公庁の役割を



藤原宮跡

P19 a-1

📍 橿原市高殿町 他

☎ 0744-21-1114

（橿原市世界遺産登録推進課）



飛鳥宮跡

P19 a-2

📍 高市郡明日香村岡

☎ 0744-54-3240（飛鳥観光協会）



天武・持統天皇陵
（檜隈大内陵）

P19 a-2

📍 高市郡明日香村野口 45

日本の国づくりをともに目指した天武天皇と持統天皇は藤原宮の大極殿から真南の場所に造られた陵墓（檜隈大内陵）に合葬されています。（※）エビノコ大殿：飛鳥宮跡で最大の建物「大極殿」と考えられている。

『古事記』『日本書紀』

歴史書の編纂も始まりました。「古事記」は舎人の稗田阿礼が記憶していた「帝紀」や「旧辞」を、太安万侶に書記させたものです。稗田阿礼は大和郡山の賣太神社に、太安万侶は田原本の多神社に祀られています。

『日本書紀』は神話から持統天皇までを編年体（※）で記述した、現存最古級の正史です。壬申の乱は、巻二十八の天武紀（壬申紀）で詳細に記されています。「古事記」「日本書紀」ともに奈良時代に完成しました。（※）編年体：出来事を年代順に記す方法



多坐弥志理都比古神社
（多神社）

P21 奈良県地図

📍 磯城郡田原本町多 569

☎ 0744-33-2155



賣太神社

P19 d-1

📍 大和郡山市稗田町 319

☎ 0743-52-4669

吉野国栖の伝承と紙漉き

国栖地域には、「国栖奏」以外にも様々な大海人皇子の伝承が残っています。追っ手に追われた大海人皇子をかくまった場所や、こもった場所、大海人皇子を助けるため、追ってきた犬を村人が殺したという犬塚もありました。その集落では、それ以降、犬を飼わなかったと伝わります。



犬塚

P20 d-2

📍 吉野郡吉野町窪垣内

現在も地域で続く紙漉きは、大海人皇子が国栖の人々に勧めたと伝わり、伝統的な紙漉き手法を継承しています。「国栖の紙は千年持つ」と言われ、国内外の文化財の修復などにも使われています。



国栖地域の紙漉き

ほかにもあります！今につながるこんなきっかけ

写経

天武天皇2（673）年、川原寺に写経生を集め、一切経の写経を行いました。今日に続く写経のはじまりとされています。

川原寺跡 弘福寺 P19 a-2

📍 高市郡明日香村川原 1109

☎ 0744-54-2043



※写真はイメージです。



かぎろひ（冬の朝日で染まった空のこと）

壬申の乱ゆかりの阿騎野に、持統6（692）年、皇太子・軽皇子が獵に訪れます。同行した柿本人麻呂は冬の夜明け直前の光である（※諸説あり）「かぎろひ」を、歌に詠みました。

※歌が詠まれた旧暦11月17日には「かぎろひを観る会」が行われています。2022年は12月10日開催予定。

かぎろひの丘万葉公園 P21 a-2

📍 宇陀市大宇陀迫間 25

オリジナルクリアファイルをゲット!

スマホで巡礼

2022年 開催期間 2023年
10月1日~2月28日

本誌で紹介している神社仏閣や
史跡・観光スポットの参拝・観光
の記録を残すアプリです。

※対象場所はスマホで巡礼アプリでご確認ください。

FREE
ダウンロード
無料



1スポットにつき10
ポイント付与され、
50ポイントにつき
1回応募できます。

※アプリ画面は変更となる場合があります。

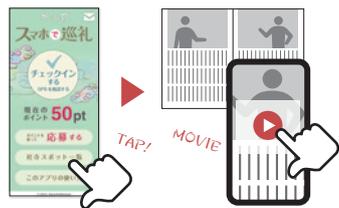


アンケートに答えて応募すると、
抽選でオリジナルクリアファイル、
または御朱印帳をプレゼント!
ご応募いただいた方への発送は、
3月下旬を予定しています。

※イラストはイメージです。

アプリを使って動画を見よう

アプリを使って特別講話(P10-11)
のダイジェストムービーを視聴
することができます。



- 1 「特別講話のダイジェストムービーを見る」をタップ
- 2 写真周辺にスマホをかざすと、動画が再生されます。



「App store」「google play」から
ダウンロードしてご利用ください。 スマホで巡礼 🔍

【このアプリは位置情報(GPS)機能を利用します。
必ず位置情報取得機能をONにしてご利用ください】

周囲の環境や通信状況、端末の性能によって、動作が不安定または不可能な場合があります。また、登録社寺の立地によってはGPS電波が届かず、チェックインできない(アプリが起動しない)場合があります。電波が届かない社寺については、各社寺の案内画面に明記しておりますので、社寺で配布しているプリントをお受け取りいただき、電波が届く場所でアプリを起動し、「マーカーカメラを起動してチェックイン」をタップして、プリントのマーカー部にかざしていただくことでチェックインできます。本アプリケーションのご利用に際しては、周囲の状況に注意し、お客様が利用される地域に適用する法律・慣習を遵守した常識的で適正なご利用をお願い致します。本アプリケーションの使用に際してお客様自身または第三者に損害が生じた場合、奈良県はその賠償の責任を一切負いかねますことをご了承ください。



1 下ツ道歴史広場

P19 ㉔ d-2
大和郡山市八条町



2 墨坂神社

P21 ㉑ b-1
宇陀市榛原萩原 703
0745-82-0114



3 村屋坐弥富都比売神社

P19 ㉔ a-2
磯城郡田原本町大字蔵堂426
0744-32-3308



4 箸墓古墳 (倭迹迹日百襲姫命大市墓)

P19 ㉔ a-2
桜井市箸中



5 文祢麻呂墓

P21 ㉑ b-2
宇陀市榛原八滝

臣下たちの戦いの地

大海人皇子は壬申の乱では、不破(岐阜県関ケ原町)に行宮(※)を置き、戦いの指揮を執りました。大和(奈良)で戦ったのは大伴氏などの将軍です。最前線に身を投じた臣下たちまつわる場所を紹介します。(※)行宮：一時的な仮の宮

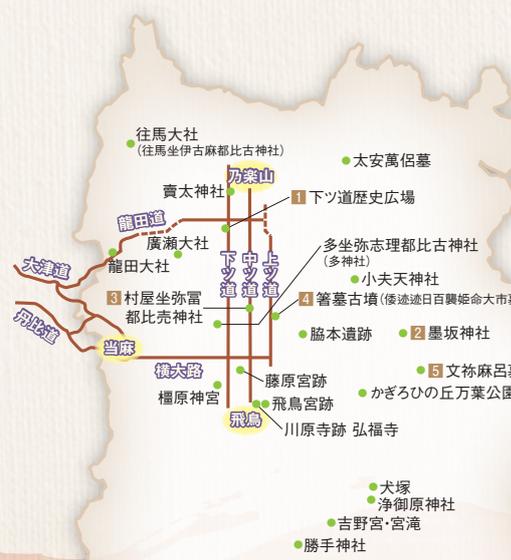
1 下ツ道(下ツ道歴史広場) 將軍・大伴吹負は飛鳥京から北上し、下ツ道を通って乃樂山に向かいます。下ツ道は上ツ道、中ツ道とともに藤原京や平城京を造営する際の基準にもなった奈良盆地を南北に走る古代の官道の一つです。大和郡山市に下ツ道歴史広場が整備されています。

2 墨坂(墨坂神社) 乃樂山に攻めてきた近江軍と大伴吹負軍が戦い、吹負軍は負けまです。吹負はほんの一、二騎を率いて、墨坂まで来ていた置始連菟の軍と合流しました。墨坂は現在の墨坂神社周辺と考えられています。

3 村屋坐弥富都比売神社 村屋神の祭神が神官に神がかりし、「我が社の中ツ道から軍勢が来るので、道を防げ」と告げました。数日後に近江方の廬井造鯨の軍が中ツ道から来襲します。神の教えはこれだったのだと人々は言ったと「日本書紀」に記されています。

4 箸墓古墳(倭迹迹日百襲姫命大市墓) 大海人方の三輪君高市麻呂、置始連菟の軍が、近江方の廬井造鯨の軍と箸陵(箸墓古墳)のほとり

5 文祢麻呂墓 文祢麻呂は壬申の乱勃発時、吉野宮から大海人皇子に付き従った20数名の舎人のうちの一人です。最終局面の瀬田(滋賀県大津市)での戦いにも参加、慶雲4(707)年に死去した際、壬申の乱の功績により位を賜っています。江戸時代の天保2(1831)年に宇陀で墳墓が発見されました。銅の墓誌板には壬申の乱の將軍の文祢麻呂の墓であることが記載されています。現在は埋め戻され、墓は国の史跡に、出土品は国宝になっています。



源義経と

大和の国

源平合戦で平家を倒した平安時代末期の
 武将、源義経。奈良には伝承を含め、
 義経にまつわる場所が数多くあります。

源義経
 奈良
 ゆかり地案内



5 蜻蛉の滝

P20 田 d-2

室町時代の『義経記』では、「吉野川の水上白糸の滝」という難所に遭遇した場面が描かれています。川上村蜻蛉の滝と推定されています。

📍 吉野郡川上村西河

6 妙香寺

P21 田 c-2

源義経の娘、妙香尼が父と祖母・常盤御前の菩提を弔うために創建したと伝わる寺。常盤御前の念持仏が安置されています。

📍 宇陀市菟田野下芳野 755



◆誕生から平泉へ

幼名は牛若丸、平治元年（1159）、源氏の棟梁（武家の統率者）源義朝と九条院の雑仕女・常盤の間に生まれました。生後すぐに平治の乱で父が討たれ、母とともに仇の平清盛に一時庇護されます。その後、母の再婚相手である一条長成の継子となり、鞍馬寺に預けられ遮那王と呼ばれます。16歳で京都を脱出し、道中元服して源九郎義経と名乗り、奥州平泉の藤原秀衡のもとへ身を寄せました。

◆平家との戦い

治承4年（1180）年、異母兄の源頼朝が伊豆で挙兵すると、平泉から参戦。頼朝の猶子（親子関係になること）となり、「御曹司」と呼ばれました。寿永3年（1184）、源義仲軍を破つて入京し、一の谷では平家軍に勝利。その後京都に留まった義経は、後白河法皇から檢非違使（平安京の警察機構）左衛門少尉の役職を与えられ、のち従五位下となり大夫判官と呼ばれます。翌元暦2年（1185）2月に屋島、3月には壇ノ浦の戦いで平家を滅ぼします。

◆頼朝と対立して平泉へ

後白河法皇に気に入られた義経は頼朝と対立。挙兵するも失敗し、畿内近国を逃亡すること1年数か月。最後は平泉の秀衡を頼ります。秀衡は義経を支えるよう遺言しましたが、秀衡の死後、頼朝が圧力をかけます。文治5年（1189）閏4月30日、義経は平泉兵の急襲を受け、

語られる義経、演じられる義経

義経の存在は後世に語り継がれ、義経を題材とした能や謡曲、浄瑠璃、歌舞伎などの芸能にも広がりました。



げんくろういなりじんじや
7 源九郎稲荷神社

P19 田 d-1

浄瑠璃・歌舞伎の『義経千本桜』に登場する源九郎狐(狐忠信)を祀る神社。歌舞伎俳優などもたびたび参拝しています。

📍 大和郡山市洞泉寺町 15
☎ 0743-55-3830



おおなかこうえん しずかこぜんきねんひ
8 大中公園 (静御前記念碑)

P20 田 b-1

静御前の母の故郷で、諸説ある静御前終焉の場所の一つでもある大和高田市。大中公園周辺には塚など、静御前ゆかりの場所もあります。

📍 大和高田市大中



はなやぐら
9 花矢倉

P20 田 c-2

謡曲「忠信」の舞台で、義経の家臣の佐藤忠信が追っ手に矢を放った場所です。桜を一望できる名所でもあります。

📍 吉野郡吉野町吉野山

奈良で味わうゆかりの味

義経の伝承から派生した食、後世につくられた物語と結びつけられた食など、義経のゆかりの味も色々あります。

どうのみねかんこう よしつねなべ
10 多武峰観光ホテルの「義経鍋」

義経を匿った南院藤室十字坊の跡地に建つホテル。十字坊がふるまったという「義経鍋」を提供しています。

📍 桜井市多武峰 432 P19 田 b-2

☎ 0744-49-0111



・義経鍋は7,260円(税込、1人前)～・2名から予約可能
・不定休のため、事前に電話予約必須・宿泊プランもあり



鮎定食 3,900円(税別)～

やすけ あゆすがたずし
11 つるべすし弥助の「鮎の姿寿司」

浄瑠璃、歌舞伎の『義経千本桜』の「すし屋の段」に登場するつるべすし弥助は、現存最古のすし屋としても知られています。

📍 吉野郡下市町下市 533 P20 田 b-2

☎ 0747-52-0008

文・前川佳代
奈良女子大学大和・紀伊半島学研究所古代学・
聖地学研究中心ター協力研究員 著書に『源義
経と壇ノ浦』等

◆後世、芸能の題材に
義経を題材にした能や謡曲は多く、吉野山に関するものでも「吉野静」「二人静」や、花矢倉で有名な義経忠臣の佐藤忠信が一人踏みとどまり奮戦する「忠信」などの作品があります。さらに「義経千本桜」は浄瑠璃・歌舞伎の傑作のひとつです。それらは史実から生まれ、醸成されたのです。

また、頼朝と対立して都落ちしたあとの義経は、吉野山へ逃げ込みました。ここで同道していた静御前と別れた義経は大峰へ入ったとみせかけて、実際は北の多武峰(桜井市)へ向かい、多武峰の寺院の一つ、南院藤室の僧・十字坊に匿われます。現在の多武峰観光ホテルが南院藤室跡といわれています。その後、十津川、伊勢、京都で潜行したのち、奈良へ戻り、興福寺の勸修坊聖弘のもとに隠れます。その時のお札に残した籠手が春日大社に残っています。

かすがたいしや
1 春日大社

P18 田 d-2

義経が興福寺勸修坊に残した義経籠手(国宝)や、義経所用と伝わる赤糸威大鎧(竹虎雀飾)(国宝)など由緒ある宝物が残っています。

📍 奈良市春日野町 160
☎ 0742-22-7788

たんだんじんじや
2 談山神社

P19 田 b-2

吉野から逃れた義経が向かい、潜伏した場所は、談山神社のある多武峰の寺院の一つです。

📍 桜井市多武峰 319
☎ 0744-49-0001

よしみずじんじや
3 吉水神社

P20 田 c-2

義経一行を約5日間かくまったと伝わり、書院内に「義経潜居の間」「弁慶思案の間」などがあるほか、鎧や鞍などの宝物も展示されています。

📍 吉野郡吉野町吉野山 579
☎ 0746-32-3024

きんぶじんじや よしつねかく どう
4 金峯神社・義経隠れ塔

P20 田 c-2

金峯山の地主の神、金山毘古神を祭神とする神社で、中世以降は修験道の行場としても知られています。

社殿を少し下った所に、追っ手に追われた源義経が身を隠したという義経隠れ塔が残ります。屋根を蹴破って逃げたことから、蹴抜けの塔とも言われます。

📍 吉野郡吉野町吉野山 1651

◆大和国に助けられた義経
大和国は赤子だった義経の命を助けました。平治の乱後、母の常盤は幼子を連れて大和国宇陀郡龍門牧(宇陀市大宇陀牧)に逃げました。宇陀市の牧や菟田野下(芳野)には常盤や義経の足跡が残っています。



奈良から伝える文化財



保存運動の際に建てられた石碑も残ります

2022年について一世紀

平城宮跡 史跡指定100周年



写真提供:奈良市 奈良県立図書館情報館今昔写真WEB蔵



へいじょうきゅうせき 平城宮跡

P18 A a-1

奈良市二条大路西3-5-1

0742-36-8780

平城宮は、奈良時代には政治・文化の中心地でしたが、都が京都に移った後は田畑となり、場所がわからなくなっていました。

江戸時代末から関心を持つ人が現れ、明治33(1900)年、技師の関野貞が遺跡の重要性を訴えた新聞記事を契機に、地元の住民を中心に保存活動が高まりました。大正11(1922)年、現在の第二次大極殿と東区朝堂院地区が国の史跡に指定されました。2022年は、平城宮跡が史跡に指定されてから100年の年です。

平成10(1998)年には、世界遺産「古都奈良の文化財」に登録され、今ではその価値が世界的に認められるようになりました。

守り、次の時代につなげようという人々の思いがあつてこそ、文化財・文化遺産は、後世に受け継いでいくことができます。

奈良県は文化財の宝庫!

国宝・重要文化財の数は

全国3位(合計1,534件)

令和4年8月1日現在

国宝	全国3位
奈良 206件	うち 76件 1位
1,131件中	彫刻 64件 1位
	建造物(件数) 37件 2位
	工芸
重要文化財	全国3位
奈良 1,328件	うち 497件 1位
13,360件中	彫刻 264件 2位
	建造物(件数)
奈良県指定文化財	令和4年8月1日現在
576件	絵画・工芸品・彫刻 202件
	建造物 121件
	史跡 55件
	その他 198件

もっと知ってほしい!

文化財とは? 奈良の文化財って?

文化財の宝庫、奈良ならではの施設が生まれました



の「文化財修復・展示棟」です。

文化財は、長い歴史の中、人々の日常生活や文化活動によって作り出され、今日まで残されてきました。かつて生きた人々の営みを知り、歴史や伝統への理解を深めていくための大切な史料です。

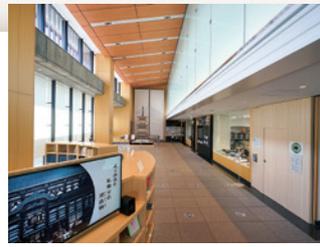
国や都道府県市町村などが指定した特に価値が高いものに対し、修理などの保護を行います。

古代、飛鳥・藤原・平城と都が営まれていた奈良県には、当時の文化財が他の都道府県に比べて多く現存しています。それ以降の時代も含め、国宝、国の重要文化財に指定された数を合計すると国内3位の所有数です。

奈良県には、まだ未調査のこれから価値が認められそうな文化財、県や市町村で大切にされている文化財が多数あります。それらを包括的に紹介していく施設が、2022年3月に誕生した、なら歴史芸術文化村の「文化財修復・展示棟」です。

奈良の文化財も再発見!

なら歴史芸術文化村 「文化財修復・展示棟」へ!



なら歴史芸術文化村

P19 目 a-1

奈良県天理市仙之内町 437-3

☎ 0743-86-4420 (代表)

休館日：月曜日

※月曜日が休日の場合は翌平日が休館



学芸員・竹下 繭子さん

修復施設だけでなく、展示室やギャラリーもあ

ながら、文化財への関心を広げてもらいたいです。」

文化財修復・展示棟の一番の特徴は、修理作業の現場をガラス越しに見学できること。毎日1回（先着10人）行っている館内ツアーでは、学芸員が直接解説をします。「文化財は知識がないと楽しめないものではありません。静かに鑑賞するのではなく、自由に向き合い、私たち学芸員と対話しながら、文化財への関心を広げてもらいたいです。」

なら歴史芸術文化村の「文化財修復・展示棟」は、地域の文化財を中心に、文化財の保存と活用を行う施設です。
学芸員（美術工芸担当）の竹下繭子さんは「奈良には未指定でも歴史的に価値が高い文化財がたくさんあるんです。そこが奈良の底力だと思います。自分の地域に素晴らしいものが伝えられてきたことを、まずは地域の方にも知って欲しいです。」と話します。

文化財修復・展示棟では、こんなことが行われています

歴史的建造物修復工房 (1F)



歴史的建造物の修理を行います。道具を展示しているほか、工房内でワークショップを行うこともあります。奈良県文化財保存事務所が担当しています。

考古遺物修復工房 (1F)



古墳や建物跡などの遺跡から、発掘調査で見つかった出土品の保存処理や整理作業を行います。天理市文化財課が担当しています。

仏像等彫刻修復工房 (B1F)



仏像を中心とした木造彫刻の修理を行います。国宝の修理も行う、公益財団法人美術院が担当しています。

絵画・書跡等修復工房 (B1F)



掛軸や巻子、屏風、冊子などの形態に仕立てられた「装潢（そうこう）文化財」の修理を行います。絵画・書跡の保存修理を専門とする株式会社文化財保存が担当しています。

祈りの回廊



むらやにいますみふつひめじんじや もりや ひろふみ
村屋坐弥富都比売神社 宮司 守屋 裕史 氏
村屋坐弥富都比売神社に生まれ育ち、2021年から同社67代目宮司兼グラフィックデザイナー。



貴重な森や神楽を通し、地域の歴史を伝える

— ゆつたりした境内で、立派な木に囲まれていますね。

イチイガシが群生する照葉樹林の樹そう（※1）です。奈良盆地唯一の森で、「村屋坐弥富都比売神社の社そう（※2）」として

県の天然記念物に指定され、田原本町の町木ともなっておりま
す。当社の周辺は戦国時代の戦火で焼失しましたが、それ以前の神社の敷地は、現在よりもつと広がったようです。

— **神社の歴史はさらに時代を遡るかと存じます。**

古くは、壬申の乱で大海人皇子軍が当時の中ツ道を行く道中で村屋神から神託を受けたと『日本書紀』に記されています。壬申の乱のときのこと、古代の主要道にある村屋の地は戦での重要な拠点と目されたよう
です。

御祭神は、三穂津姫とおおものかみという夫婦神。縁結びや家内安全、商売繁盛を願ってお参りい

ただいています。当社の主祭神が大
が、大神神社のご祭神である大物主の妃神の三穂津姫であること
から、大神神社の別宮ともさ
れていますので、ぜひ両方お参
りください。

— **ご朱印をきっかけとしたご参拝者が近年、大幅に増えたとも伺っています。**

ありがたいことに遠方からもお越しいただくようになりまし
た。月替わりの御朱印を求めて毎月一日にお参りくださる方や、新型コロナウイルスのこと
もあってホームページ経由でお申込みくださるケースもありま
す。先ほど話に出ました『日本書紀』の記述から「壬申の乱古
「戦場」と書いたご朱印もござい
ます。

もう一つ、当社独自の10種類の神楽「代々神楽」（※3）に注目
して訪ねてくださる方も増えてきたように感じます。奈良県中部地区に残る神楽舞いのほと



アプリでダイジェストムービーが見えます！



📍 磯城郡田原本町大字蔵堂 426
MAP P19 E a-2
☎ 0744-32-3308
🚶 近鉄田原本駅からタクシー約10分
JR巻向駅から徒歩約30分
<https://murayajinja.com/>

んどは当社から伝わったともさ
れています。古代の田原本町は交通の要衝として発達し、農業
などで栄えたのにつれ、芸能文化も盛んになっていったのでし
う。こうした地域の歴史風土を紐解く名残りが「代々神楽」で
す。今後も地域の皆さんのご協力を得て、地元の子どもたちに
伝え、「代々神楽」の奉納を続け
ていきたいですね。

（※1） 自生した樹木が密集して生えている地。
（※2） 神社の森のこと。
（※3） 村屋坐弥富都比売神社に代々伝わる「平神楽」「三々九度」など全10種の独自の神楽。秋季例大祭において奉納され、一般参拝者も拝観できます。



アプリでダイジェストムービーが見えます！

P05で紹介している「スマホで巡礼」アプリをダウンロードして、「特別講話のダイジェストムービーを見る」をタップして写真周辺にかざしてください。特別講話のダイジェストムービーを視聴することができます。

特別講話



やたでら こんごうせんじ 山主 まえかわ しんちよう
矢田寺（金剛山寺） 前川真澄 師
 矢田山金剛山寺山主。1943年生まれ。
 2015年から現職を務める。



私たち一人ひとりが お地蔵様となり良き世を



アプリで
ダイジェスト
ムービーが
見れます！

— 今年はずいぶん矢田寺のお地蔵様を拝見できました。

新型コロナウイルス感染症が発生した年以來でしたね。あの年に開花シーズン直前にして花を切ったのは、絶対に感染を拡大してはならないという決断でした。

当寺のあじさい園は栽培を始めて60年、皆様にご覧いただけようになつて50年です。このあじさいは地蔵尊へのお供えでもあります。お地蔵様は「抜苦与楽」と言つて人の苦しみの身代わりとなり楽を与えてくださる仏様。あじさいが雨に打たれながらもきれいに咲く姿は、その行いに重なります。あじさいの花はお地蔵様が手に持つ宝珠とよく似た形で、花びらが色を変える様子は諸行無常を表すようでもあつて、お地蔵様とあじさいの結びつきを感じております。

お地蔵様は人間と同じ姿形をした親しみのある仏様。私には感染症や災害復興の場で従事する皆さんの姿が、お地蔵様

に見えます。電車の座席を譲つておられる方も「この方がお地蔵様なのではないか」と思いますが。私たち一人ひとりがお地蔵

様のようになれば、世の中はきっと良くなります。矢田寺には一体の中にさらに千体おおいでになるお地蔵様など数えきれない地蔵尊がおられます。また奈良県の十ヶ寺の地蔵菩薩を巡拝する「大和地蔵十福霊場会」の機会もありますので、ぜひご参拝ください。

— 2022年は壬申の乱から1350年となります。

寺伝では「大海人皇子が吉野に隠棲されたころ、下ツ道を通り稗田（※1）の辺りに来られたとき、西の山（※2）の中腹に不思議な光—当寺では「舍利光」と呼ばれます—をご覧になった。早速山に登り、その地で戦勝祈願をされた。そして壬申の乱が起り、勝利した大海人皇子は

天武天皇として即位。戦勝祈願

の地に智通（※3）に命じて十一面観音と吉祥天女を祀る金剛山寺（※4）を建立された」と伝わります。

ちなみに「西の山」である周囲の丘陵は近年まで矢田松と呼ばれる松の木が茂り、本堂の柱は、その松の太木が使われていました。山は今も松枯れしてしまいましたが、本堂にご参拝の際は柱もご覧ください。また桜やツツジ、沙羅、紅葉など、四季それぞれの風景も楽しんでいただけたらと思います。

- （※1）現在の和歌山県和歌山市稗田町
- （※2）和歌山県和歌山市の丘陵
- （※3）和歌山県和歌山市の飛鳥時代の僧
- （※4）矢田寺（通称）の正式名称



和歌山県和歌山市矢田町 3506
 MAP P19 C-1
 0743-53-1445
 近鉄郡山駅から矢田寺前行きバス終点下車徒歩約10分
<http://www.yatadera.or.jp>



奈良大和路の

「秘宝・秘仏特別開帳」

普段は拝観できない秘宝・秘仏の特別開帳を紹介



新型コロナウイルスの影響により、行事の中止や、日時の変更、予約・入場制限等の開催概要が変更になる場合があります。お出かけの際は事前に最新情報をご確認ください。拝観料その他詳細は各社寺にお問い合わせください。拝観の際は、マスク着用など感染予防を心がけてください。

(掲載内容は2022年8月現在のものです)

奈良町見知り

Naramachi Mishiru

奈良町のちょっといいところを見て知る秋の1週間

2022年11月6日(日)～11月13日(日)

<https://naramachimishiru.jimdoofree.com/>



興福寺

MAP A c-2

特別公開 2022 — 五重塔初層特別公開 — 国宝

9/17(土)～10/16(日)

2023年から約120年ぶりの大規模修理が予定されている五重塔を特別開扉。薬師如来像、釈迦如来像、阿弥陀如来像、弥勒如来像、それぞれ左右に脇侍を従えた三尊像形式での合計十二軀を拝観することができます。また、11/4(金)～11/26(土)の毎週金・土曜日は17時半から20時まで国宝・北門堂の夜間拝観も実施。

所 奈良市登大路町48 ☎ 0742-22-7755

行 ●JR奈良駅から市内循環バス「県庁前」下車、徒歩すぐ ●近鉄奈良駅から徒歩約5分

HP <https://www.kohfukuji.com/>



五重塔(国宝)
写真:興福寺

春日大社 国宝殿

MAP A d-2

特別展 春日若宮式年造替奉祝 国宝など

杉本博司 — 春日神霊の御生 御蓋山そして江之浦 —
12/23(金)～2023.1/29(日)、1/31(火)～3/13(月)

江之浦測候所(小田原市)に甘橘山春日社を勧請した現代美術作家・杉本博司氏の監修により、初公開となる杉本氏の新作「藤棚図屏風」をはじめ、春日美術の名品、国宝の古神宝類などが贅沢に会します。



「春日大社藤棚図屏風」2022

所 奈良市春日野町160 ☎ 0742-22-7788

行 ●JR・近鉄奈良駅から春日大社本殿行きバス終点下車、徒歩すぐ ●JR・近鉄奈良駅から市内循環バス「春日大社表参道」下車、徒歩約10分

HP <https://www.kasugataisha.or.jp/>

元興寺

MAP A c-2

①板絵智光曼荼羅特別開扉

10/22(土)～11/13(日)

②秋季特別展『袋中上人と山の寺 念仏寺』

10/22(土)～11/13(日)

本年は、念仏寺が袋中上人によって開創され400年の節目の年。智光曼荼羅や當麻曼陀羅の研究など、元興寺や奈良に根付いた浄土信仰の伝統を踏まえ、独自の教義を打ち立てた上人ゆかりの名宝によって奈良における足跡をたどります。

※同日程で念仏寺(奈良市漢国町7)でも宝物の開帳を実施。

所 奈良市中院町11 ☎ 0742-23-1377

行 ●近鉄奈良駅から徒歩約15分 ●JR奈良駅から徒歩約20分

HP <https://gangoji-tera.or.jp/>



境内

福智院

MAP A c-2

宝冠十一面観音菩薩立像

10/17(月)～10/23(日)、11/1(火)～11/7(月)、2023.3/17(金)～3/23(木)

本尊・地藏菩薩坐像(鎌倉時代)は総高約7m。地藏大仏と呼ばれ、千仏光背を背負っています。宝冠を頭に載せた優美な十一面観音菩薩立像は、明治の廃仏毀釈の後、お迎えした客仏です。



宝冠十一面観音菩薩立像
写真:榎飛園

所 奈良市福智院町46

☎ 0742-22-1358

行 JR・近鉄奈良駅から天理駅・下山行きバス「福智院町」下車、徒歩すぐ

五劫院

MAP A d-1

涅槃図・五劫思惟阿弥陀仏坐像 重文

2023.2/5(日)～2/15(水)

南都焼討に遭った東大寺の再興に尽力した重源上人が宋から請来したと伝わる五劫思惟阿弥陀仏坐像は果てしなく長い時間を瞑想されたお姿で、特に頭髪がアフロヘアのように個性的です。涅槃図とともに特別公開されます。



五劫思惟阿弥陀仏坐像(重文)
写真:五劫院

所 奈良市北御門町24

☎ 0742-22-7694

行 JR・近鉄奈良駅から青山住宅、州見台(くのみだい)八丁目行きバス「今在家」下車、徒歩約8分

不空院

MAP A d-2

本尊・不空羂索観音菩薩坐像など 重文など

10/17(月)、10/29(土)～11/14(日)

縁切り・縁結びで知られる古刹不空院では本尊・不空羂索観音菩薩坐像が特別公開されます。2022年1月に完成した宇賀弁財天女堂(鎮守堂)では秘仏・宇賀弁財天女坐像も期間中の(土)・(日)・(祝)に開帳されます。堂内には天井画があり、四季折々の花が咲いています。



宇賀弁財天女坐像
写真:不空院

所 奈良市高畑町1365

☎ 0742-26-2910

行 JR・近鉄奈良駅から市内循環バス「破石町(わいしちよう)」下車、徒歩約10分

HP <https://www.fuku-in.com/>

【東大寺 A d-1】①僧形八幡坐像(国宝)《勧進所八幡殿》、五劫思惟阿弥陀如来坐像(重文)《勧進所阿弥陀堂》、公慶上人坐像(重文)《公慶堂》:10/5(木) ※転書会
②良弁僧正坐像(国宝)《開山堂》、執金剛神立像(国宝)《法華堂》、重源上人坐像(国宝)、阿弥陀如来立像(重文)、愛染明王坐像(重文)《俊乘堂》:
12/16(金) ※良弁忌 ※秘仏はいずれも法要終了後に特別開帳されます。

【頭塔 A d-2】史跡頭塔、頭塔石仏など(重文):10/29(土)～11/14(日)



おびとけでら 帯解寺 MAP A d-1

◎秘仏・秘宝特別公開 **重文など**
11/7(月)~11/13(日)

◎令和5年春 秘仏公開 **重文など**
2023.3/6(月)~3/15(水)(予定)

本尊・帯解子安地藏菩薩は求子や安産に靈験あらたかで、全国から多くの祈願が寄せられます。本尊のほか、春日童子画像、虚空蔵菩薩坐像などが公開されます。

所 奈良市今市町734 ☎ 0742-61-3861
行 ●JR帯解駅から北へ徒歩約5分 ●近鉄奈良駅から天理駅行き、下山行きバス「下山」下車、西へ徒歩約10分
HP <http://www.obitokedera.or.jp/>



帯解子安地藏菩薩像(重文)
写真:橋飛鳥園

ほんにゃじ 般若寺 MAP A d-1

コスモス 9月中旬~11月上旬

◎白鳳秘仏寺宝特別公開 **重文など**
10/29(土)~11/13(日)

聖武天皇が平城京の鬼門鎮護のため塔堂を建立したのが始まり。春~秋、様々な花が境内を彩り、特に「コスモス寺」として有名。十三重石宝塔の軸石から発見された白鳳秘仏や寺宝が公開されます。

所 奈良市般若寺町221 ☎ 0742-22-6287
行 JR・近鉄奈良駅から青山住宅、州見台(くのみだい)八丁目行きバス「般若寺」下車、徒歩約3分
HP <http://www.hannyaji.com/>



阿彌陀如来立像(重文)
写真:般若寺

ふたいじ 不退寺 MAP A b-1

紅葉 11月下旬 睡蓮 ~11月頃 椿 10月~4月

◎在原業平朝臣画像、寺宝特別展
10/1(土)~11/30(水), 2023.3/1(水)~5/31(木)

六歌仙のひとりに在原業平ゆかりの古刹で、正式名称は不退転法輪寺。本尊は業平自作とされる聖観音菩薩立像。在原業平朝臣画像や寺宝の公開時期は、紅葉や山茶花・椿・レンギョウなどが見頃です。

所 奈良市法蓮町517 ☎ 0742-22-5278
行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅行き、航空自衛隊行きバス「一条高校前」下車、徒歩約5分 ●近鉄大和西大寺駅からJR・近鉄奈良駅行きバス「不退寺口」下車、徒歩約3分 ●近鉄新大宮駅から徒歩約15分
HP <http://www3.kcn.ne.jp/~futaiji/>



在原業平朝臣画像
写真:永野鹿鳴荘

だいにんじ 大安寺 MAP A b-2

◎本尊・十一面観音菩薩立像 **重文**
10/1(土)~11/30(木)

◎秘仏・馬頭観音菩薩立像 **重文**
2023.3/1(水)~3/31(金)

南都七大寺のひとつで、聖徳太子や空海とゆかりが深い古刹。本尊は疾病を免れ、財宝や食物に恵まれる功德があるとされ、馬頭観音は災厄を除く観音様として信仰されています。令和5年3月下旬まで宝物殿増改修工事の為、拝観体制が変わります。詳しくはHPをご確認下さい。

所 奈良市大安寺2-18-1 ☎ 0742-61-6312
行 ●JR・近鉄奈良駅からシャープ前、白土町(しらつちちょう)行きバス「大安寺」下車、徒歩約10分 ●JR奈良駅から徒歩約25分
HP <http://www.daianni.or.jp/>



十一面観音菩薩立像(重文)
写真:橋飛鳥園

ほっけじ 法華寺 MAP A b-1

椿 12月~3月 梅 2月中旬~3月

◎十一面観音菩薩立像 **国宝など**
10/25(火)~11/14(月), 2023.3/20(月)~4/7(金)

◎絹本着色阿彌陀三尊および童子像(慈光殿) **国宝など**
10/25(火)~11/14(月)

聖武天皇の后・光明皇后の発願で創建。特別開扉の本尊・十一面観音菩薩立像は光明皇后がモデルとも。秋季は平安時代作の浄土芸術の傑作も同時公開されます。

所 奈良市法華寺町882 ☎ 0742-33-2261
行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅行き、航空自衛隊行きバスまたは近鉄大和西大寺駅からJR・近鉄奈良駅行きバス「法華寺」下車、徒歩約3分 ●近鉄新大宮駅から徒歩約15分
HP <https://hokkejimonzeki.or.jp/>



阿彌陀三尊および童子像のうちの阿彌陀如来像(国宝)
写真:橋飛鳥園

かいりゅうおうじ 海龍王寺 MAP A b-1

雪柳 3月中旬~4月中旬

◎十一面観音菩薩立像、寺宝展 **重文など**
10/25(火)~11/14(月), 2023.3/23(水)~4/7(金)(予定)

寺号は遣唐留学僧・玄昉が嵐の中『海龍王経』を唱え無事に帰国した故事が由来。遣唐使以来、現在も旅行や留学の安全が祈願されています。光明皇后が刻んだ像をもとにした本尊・十一面観音菩薩立像などを拝観できます。

所 奈良市法華寺町897 ☎ 0742-33-5765
行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅行き、航空自衛隊行きバスまたは近鉄大和西大寺駅からJR・近鉄奈良駅行きバス「法華寺」下車、徒歩約3分 ●近鉄新大宮駅から徒歩約15分
HP <https://kairyuuouji.jp/>



十一面観音菩薩立像(重文)
写真:橋飛鳥園

さいだいじ 西大寺 MAP A a-1

萩 9月下旬~10月上旬

◎愛染明王坐像(愛染堂)、聚宝館特別公開 **国宝 重文など**
10/25(火)~11/15(水), 2023.1/15(日)~2/4(土)

称徳天皇の勅願によって創建された南都七大寺の一つ。鎌倉時代に観尊上人によって再興されました。愛染堂の秘仏本尊・愛染明王坐像の特別開扉、多数の寺宝を納める聚宝館が開館されます。

所 奈良市西大寺芝町1-1-5 ☎ 0742-45-4700
行 近鉄大和西大寺駅から徒歩約3分
HP <http://saidaiji.or.jp/>



愛染明王坐像(重文) 写真:橋飛鳥園

きこうじ 喜光寺 MAP A a-2

◎弁天堂神影 宇賀神(秘仏)
2023.1/1(日)・(祝)~1/15(日)

行基菩薩が創建し、東大寺大仏殿のモデルとして建てられた本堂は「試みの大仏殿」と呼ばれます。宇賀神像は人頭蛇身という神秘的なお姿。幸福を願って祈願する人に多くの靈験を賜るとされます。

所 奈良市菅原町508 ☎ 0742-45-4630
行 ●近鉄尼ヶ辻駅から徒歩約10分 ●近鉄大和西大寺駅から徒歩約20分 ●JR・近鉄奈良駅から学園前駅(南)行きバス「阪奈菅原」下車すく
HP <https://kikouji.com/>



宇賀神像 写真:喜光寺

【興善寺 A c-2】①観経曼陀羅拝観:9/20(火)~9/26(月) ※要予約、2023.3/18(土)~3/24(金) ※要予約 ②涅槃図拝観:2023.2/1(水)~2/15(水) ※要予約
【慈眼寺 A c-1】聖観世音菩薩:2023.2/5(日) ※初午、3/1(水)※二の午
【伝香寺 A c-2】本尊・釈迦如来坐像、南無仏太子像、地藏菩薩立像納入品、筒井家関連書状:2023.3/12(日)
新型コロナウイルスの影響により、行事の中止や、日時の変更、予約・入場制限等の開催概要が変更になる場合があります。



薬師寺 萩 9月中旬～10月中旬 MAP A a-2

げんじょうざんぞういん がらん だいとうさいいきへき がでんとくべつこうかい
①玄奘三蔵院伽藍 大唐西域壁画殿特別公開、
 食堂特別公開、国宝東塔水煙公開(西僧坊) **【国宝など】**
 9/16(金)～11/30(水)、2023.1/1(日)・祝～1/8(日)、3/1(水)～6/30(金)

さいとうしよせうないじん ひがしめんかい ひ
②西塔初層内陣 東面開扉
 9/16(金)～11/30(水)

きちじょうてんによろごうかい がぞうとくべつこうかい こくほう へいせいほんきちじょうてん
③吉祥天女画像特別公開(国宝・平成本吉祥天) **【国宝】**
 2023.1/1(日)・祝～1/3(火) [国宝]、1/4(水)～1/15(日) [平成本吉祥天]

令和3年春に奈良時代建立の東塔が解体修理を終えた薬師寺。阿弥陀三尊浄土図を中心とする食堂壁画、平山郁夫画伯の「大唐西域壁画」、東塔水煙を展示する西僧坊を同期間に公開。また、吉祥天女画像は奈良時代作の国宝と、平成本吉祥天が順次公開されます。また、2023.3/25(土)～3/31(金)まで、10種の造花によって浄化された堂内で修二会花会式(薬師悔過法要)が行われます。



① 食堂ご本尊・阿弥陀三尊浄土図 写真:薬師寺



③ 吉祥天女画像(国宝) 写真:薬師寺

所 奈良市西ノ京町457 ☎ 0742-33-6001

行 ●近鉄西ノ京駅から徒歩すぐ

●JR・近鉄奈良駅から奈良県総合医療センター行きバス「薬師寺」下車、徒歩すぐ

HP <https://www.yakushiji.or.jp/>

正暦寺 紅葉 11月中旬～12月上旬 MAP A d-1

ひぶつ やくしじょうらいぞう **秘仏・薬師如来倚像** **【重文など】**
 11/3(木)・祝～12/4(日) ※本堂にて、12/22(木) ※瑠璃殿(収蔵庫にて)

992(正暦3)年、透き通る清流と秋の紅葉に彩られる“錦の里”に創建。特別公開される白鳳秘仏の本尊・薬師如来倚像は台座に腰を掛け、足を踏割蓮華に乘せている、珍しいお姿をしています。

所 奈良市菩提山町157 ☎ 0742-62-9569
 行 ●JR・近鉄奈良駅からタクシー約25分 ●11月中旬～12月初旬はJR・近鉄奈良駅から臨時バス運行予定(詳細は奈良交通へお問合せください) ●JR・近鉄天理駅からタクシー約20分
 HP <http://shoryakuji.jp/>



薬師如来倚像(重文) 写真:正暦寺

弘仁寺 MAP A d-1

ひぶつほんぞん こくごうぼさつぞう **①秘仏本尊・虚空蔵菩薩像**
 11/1(火)～11/30(水) (拝観は午後1時より)

からくさもんみつあしぞうじこうろ **②唐草文三足双耳香炉(奈良市指定文化財)**
 11/1(火)～11/30(水) (拝観は午後1時より)

本尊は無限の智恵と慈悲を持つ虚空蔵菩薩。13歳の子に知恵を授けてもらう十三詣りが有名。奈良市指定文化財の香炉、数学の問題や解法を記した算額も必見。

所 奈良市虚空蔵町46 ☎ 0742-62-9303
 行 ●JR・近鉄奈良駅から天理駅行き、下山行きバス「下山」下車乗換、米谷町行きコミュニティバス「高樋町」下車、徒歩約5分 ●JR・近鉄奈良駅からタクシー約30分
 HP <http://www.kouninji.org/>



②唐草文三足双耳香炉(奈良市指定文化財) 写真:奈良市教育委員会

浄瑠璃寺 紅葉 11月上旬～11月下旬 MAP B a-2

ひぶつ きつじょうてんによろごう **①秘仏・吉祥天女立像** **【重文】**
 10/1(土)～11/30(水)、2023.1/1(日)・祝～1/15(日)

さんじょうとうしよせうかいひ やくしじょうらいぞう **②三重塔初層開扉・薬師如来坐像** **【国宝】**
 毎月8日、10/29(土)～11/6(日)、2023.1/1(日)・祝～1/3(火)、1/8(日)～1/10(火) ※ただし射天の日に限る

③大日如来坐像など(灌頂堂) 2023.1/8(日)～1/10(火)

平安時代の浄土式庭園と9体の阿弥陀如来坐像を安置する国宝・本堂を持つ名刹。厨子入りの吉祥天女立像や国宝・三重塔の薬師如来坐像などが開扉されます。

所 京都府木津川市加茂町西小札場40 ☎ 0774-76-2390
 行 JR加茂駅から加茂山の家行きバス「浄瑠璃寺前(浄瑠璃寺)」下車、徒歩約3分(11月の土、日、祝のみJR・近鉄奈良駅からのバス有り)



① 吉祥天女立像(重文) 写真:磯飛鳥園

岩船寺 紅葉 11月中旬～12月上旬 MAP B a-2

ひぶつ ひぶつとくべつこうかい **①秘仏秘仏特別公開**
 10/1(土)～11/30(水)

ひぶつとくべつこうかい **③秘仏特別公開**
 2023.1/1(日)・祝～1/15(日)

②三重塔初層特別開扉 **【重文】** ※雨天・荒天時は塔開扉中止の場合あり
 10月・11月の毎週土日祝

秋の特別公開では、秘仏・如意輪観音、弁財天、羅刹天、秘宝・両界曼荼羅、岩船寺縁起などに加え、三重塔初層の色鮮やかな壁画も公開。秘仏は1月にも特別公開されます。

所 京都府木津川市加茂町岩船上ノ門43 ☎ 0774-76-3390
 行 JR加茂駅から加茂山の家行きバス「岩船寺」下車、徒歩すぐ(11月の土、日、祝のみJR・近鉄奈良駅からのバス有り)
 HP <https://gansenji.or.jp/>



② 三重塔初層内部(重文) 写真:岩船寺

現光寺 紅葉 11月中旬～11月下旬 MAP B a-1

ほんぞん じゅういちめんくわんおんざぞう **本尊・十一面観音坐像** **【重文】**
 11/3(木)・祝、5(土)、6(日)

現光寺の収蔵庫に安置される本尊・木造十一面観音坐像(重文)は、慶派の仏師作と推定される全国にも数枚という珍しい坐像のお姿です。

所 京都府木津川市加茂町北山ノ上9 ☎ 0774-76-2256 (海住山寺)
 ※お問い合わせは海住山寺までお願いします
 行 JR加茂駅東口から徒歩約15分、お寺付近は道幅狭小・境内に駐車場はありません



十一面観音坐像(重文) 写真:磯飛鳥園

海住山寺 紅葉 11月中旬～11月下旬 MAP B a-1

ごじょうとうとくべつかいひ **①五重塔特別開扉** **【国宝など】** **②寺宝特別公開** **【重文など】**
 10/29(土)～11/6(日) 10/29(土)～11/27(日)
 ※荒天時は塔開扉中止の場合あり

735年創建と伝わり、鎌倉時代に解脱上人貞慶により中興された名刹。国宝・五重塔の内陣は華麗に彩色された厨子風造りで、扉絵は必見。奥の院十一面観音菩薩立像や四天王立像なども公開されます。

所 京都府木津川市加茂町例幣海住山20 ☎ 0774-76-2256
 行 ●JR加茂駅西口から奥畑行きバス「海住山寺西口」下車、徒歩約20分(※バスは平日のみ運行) ●JR加茂駅西口から和東町小杉行きバス「岡崎(加茂)」下車、徒歩約30分 ●JR加茂駅からタクシー約10分 ●11月の土、日、祝のみJR・近鉄奈良駅からの臨時バス有り
 HP <http://www.kaiyusenshi.jp/>



① 五重塔内部(国宝) 写真:磯飛鳥園

【唐招提寺 A a-2】金亀舍利塔(国宝)、釈迦如来立像(重文)など《礼堂》:10/21(金)～10/23(日)



まつおでら **松尾寺** MAP C-1

- ①千手観音像トルソー (秘仏・奈良時代)、舎人親王像 (本堂) 10/25(日)
- ②秘仏本尊・厄除観音 (厄除千手千眼観世音菩薩立像) 11/3(木)・(祝)

日本書紀を編纂した舎人親王が開基したと伝わる日本最古の厄除霊場。日本唯一の舎人親王像など寺宝を公開。秘仏本尊は年に一日だけの公開となります。



①舎人親王像 写真：松尾寺

所 大和郡山市山田町683 ☎0743-53-5023
 行 ●JR大和小泉駅(東口)から近鉄郡山駅行きバス、または近鉄郡山駅から大和小泉駅東口行きバス「松尾寺口」下車、徒歩約30分 ●JR大和小泉駅から徒歩約45分
 HP <https://matsuodera.com/>

しょうりんじ **聖林寺** MAP D b-1

- ①秘宝・マンダラ展 11/1(火)～11/30(水)
- ②秘仏・宝蔵天、秘仏・弁財天 2023.1/1(日)・(祝)～1/3(火)

両界曼荼羅や観音浄土補陀落山図など、秘宝のマンダラ(仏画)が約15点公開。正月三が日は秘仏も開扉されます。国宝の十一面観音は、改築された新しい御堂で360度から拝観できます。



①浄土曼荼羅 写真：聖林寺

所 桜井市下692 ☎0744-43-0005
 行 ●JR・近鉄桜井駅から談山神社行きバス「聖林寺」下車、徒歩約3分
 ●JR・近鉄桜井駅からタクシー約10分
 HP <http://www.shorinji-temple.jp/>

つばさかから **壺阪寺(南法華寺)** MAP D a-2

- ①観音大めがねぐり 10/8(土)～12/4(日)
- ②壺阪観音お身拭い・特別結縁参拝 10/8(土)～12/4(日)
- ③三重塔・多宝塔初層同時開扉 10/8(土)～12/4(日)
- ④納め観音 秘仏・子島荒神御開帳 12/18(日) 13時30分～16時30分

眼病封じの古刹。大観音石像サイズの大めがねぐり、浄布で本尊・十一面千手観音菩薩像に触れるお身拭い参拝、一年で3時間のみの荒神像公開が行われます。



本尊・十一面千手観音菩薩像 (撮影：藤井金治)

所 高市郡高取町壺阪3 ☎0744-52-2016
 行 近鉄壺阪山駅から壺阪寺前行きバス終点下車、徒歩すぐ
 HP <http://www.tsubosaka1300.or.jp/>

おかでら **岡寺** MAP D b-2

- ①本堂内々陣お扉特別開扉 重文 10/8(土)～12/11(日)
- ②三重宝塔初層壁画扉絵特別公開 10/16(日)

西国第7番札所の厄除け霊場。高さ4.85mの本尊・如意輪観音坐像は日本最大の塑像。迫力ある全身を拝観できます。三重宝塔は開山忌のみの公開です。



①塑造 如意輪観音坐像(重文) 写真：岡寺

所 高市郡明日香村岡806 ☎0744-54-2007
 行 近鉄飛鳥駅または近鉄橿原神宮前駅から明日香周遊バス「岡寺前」下車、徒歩約10分
 HP <https://www.okadera3307.com/>

ほうりゅうじ **法隆寺** MAP C-1

- ①夢殿秘仏・救世観音菩薩立像 国宝 10/22(土)～11/22(火)
- ②上御堂(釈迦三尊像) 国宝など 11/1(火)～11/3(木)・(祝)

現存する世界最古の木造建築物群を有し、2023年に世界遺産登録から30周年を迎える寺院。夢殿では救世観音菩薩立像も開扉。上御堂の釈迦三尊像なども拝観できます。



①夢殿本尊・観音菩薩立像【救世観音】(国宝) 写真：榎飛鳥園

所 生駒郡斑鳩町法隆寺山内1-1 ☎0745-75-2555
 行 ●JR法隆寺駅から法隆寺参道行きバス終点下車、徒歩すぐ
 ●近鉄筒井駅から王寺駅行きバス「法隆寺前」下車、徒歩すぐ
 HP <http://www.horyuji.or.jp/>

ちようごそんしじ **朝護孫子寺** MAP C b-2

- ①信貴山縁起絵巻特別公開 「尼公の巻」 国宝 10/8(土)～11/23(水)・(祝)
- ②奥秘仏毘沙門天王像御開帳 10/1(土)～10/11(火) ※開扉時間は9時～16時になります ※御祈禱中はお待ちいただくことになります

国宝の信貴山縁起絵巻は全3巻のうち「尼公の巻」が壺宝館で、また、毘沙門天王は普段見られる「お前立ち」の後ろに秘された「奥秘仏」が公開されます。



①信貴山縁起絵巻(尼公の巻、部分)(国宝) 写真：朝護孫子寺

所 生駒郡平群町信貴山2280-1 ☎0745-72-2277(本坊)
 行 JR・近鉄王寺駅または近鉄信貴山下駅から信貴山門行きバス「信貴大橋」下車、徒歩約5分
 HP <http://www.sigisan.or.jp/>

かんのん **おふさ観音** MAP D a-1

- 秘宝・生き人形 10/19(水)～11/30(水)

秋のバラまつりと同期間、本堂内で天才人形師・安本亀八作の生き人形が公開されます。「生き人形」とは精緻な技巧で徹底的に本物に似せた人形のこと。「肌」に浮き出た「静脈」も見て取れます。



バラまつり 写真：おふさ観音

所 橿原市小房町6-22 ☎0744-22-2212
 行 ●近鉄大和八木駅から下市口駅行き、近鉄御所駅行きバス「小房(おふさ)」下車、徒歩約5分
 ●近鉄大和八木駅から徒歩約25分またはタクシーで約10分 ●JR畷傍駅から徒歩約10分
 HP <http://www.ofusa.jp/>

たちばなでら **橘寺** MAP D a-2

- ①聖倉殿(収蔵庫)特別公開 重文など 10/8(土)～11/6(日) ※拝観は外からになります

聖徳太子生誕の地といわれ、太子自身が創建とされます。本堂の太子殿には、太子35歳の像(重文)が安置されており、聖倉殿では、伝・日羅立像(重文)や地藏菩薩立像(重文)などの寺宝が特別公開されます。10月末頃には観音堂裏阿弥陀陀特別公開も予定されています。



伝・日羅立像(重文) 写真：榎飛鳥園

所 高市郡明日香村橘532 ☎0744-54-2026
 行 近鉄飛鳥駅または近鉄橿原神宮前駅から明日香周遊バス「岡橋本」または「川原」下車、いずれも徒歩約3分
 HP <https://tachibanadera-asuka.jimdofree.com/>

【吉田寺 C-2】多宝塔(重文)初層・大日如来坐像：11/1(火)～11/3(木)・(祝) 【法輪寺 C-1】秋季特別展 妙見堂特別公開と秘仏妙見菩薩像御開帳：11/1(火)～11/7(月) 【慈光院 C-1】本堂天井鳴き龍：2023.1/1(日)・(祝)～1/3(火)



あべもんじゆいん **コスモス迷路** 9月中旬～10月下旬 **MAP a-2**

安倍文殊院

きんかくうきみ どうれいほうかん しほうてん **金閣浮御堂霊宝館 寺宝展** **国宝など**

秋：9/1(木)～11/30(水)、冬：12/1(木)～2023.2/28(火)

本尊は快慶作の獅子に乗った文殊菩薩。安倍仲麻呂・安倍晴明の御尊像など陰陽道に関する宝物や秘仏を納める金閣浮御堂で、魔除け・災難除けの「七まいり」の後、内陣にあたる霊宝館を拝観できます。

所 桜井市阿部645 ☎ 0744-43-0002

行 ●JR・近鉄桜井駅から桜井市コミュニティバスまたは石舞台行きバス「安倍文殊院」下車、徒歩すく●JR・近鉄桜井駅から徒歩約20分またはタクシー約5分

HP <https://www.abemonjuin.or.jp/>



本堂 写真：安倍文殊院

たんざんじんじや **紅葉** 11月中旬～12月上旬 **MAP D b-2**

談山神社

どうのみね つた まだらしんめん つづみ **多武峰に伝わる摩多羅神面と鼓**

10/29(土)～11/27(日)、ライトアップ：11/18(金)～11/27(日)
※11/9(水)を除く

日本唯一の木造十三重塔が建つ神社。大化の改新の立役者・藤原鎌足を祀ります。社宝特別展は紅葉シーズンに重なり、十三重塔などに映える絶景を楽しめます。

所 桜井市多武峰319 ☎ 0744-49-0001

行 JR・近鉄桜井駅から談山神社行きバス終点下車、徒歩約3分

HP <http://www.tanzan.or.jp/>



十三重塔(重文) 写真：談山神社

ほうざんじ **MAP a-2**

寶山寺

ししかく **獅子閣** **重文**

10/8(土)～10/10(月)・祝

本堂本尊・不動明王像に加え、聖天堂に大聖歡喜天が祀られ、「生駒の聖天さん」として、信仰を集めています。獅子閣は明治17年落慶の洋風客殿。木製螺旋階段や色ガラス入りの扉・窓、2階ベランダ、細部に凝った造作は必見です。

所 生駒市門前町1-1 ☎ 0743-73-2006

行 近鉄生駒駅からケーブル「宝山寺」下車、徒歩約10分

HP <http://www.hozanji.com/>



獅子閣内部(重文) 写真：飛鳥園

ちやうがくじ **紅葉** 11月～12月 **椿** 1月～3月 **MAP a-1**

長岳寺

だいじごくえ かいちやう **大地獄絵開帳**

10/23(日)～11/30(水)

境内が紅葉に染まる時期、三悪道や修羅道の世界を描いた大地獄絵(狩野山楽筆)を公開。土日祝(13時頃)は住職による絵解きも開催。全9幅・総幅11mの迫力に触れると、日々的心と行いを省みたくくなります。

所 天理市柳本町508 ☎ 0743-66-1051

行 ●JR・近鉄天理駅から桜井駅北口行きバス「上長岡(かみなんか)」下車、徒歩約10分 ●JR柳本駅から徒歩約20分

HP <https://www.chogakuji.or.jp/>



大地獄絵・大焦熱地獄【部分】 写真：長岳寺

たいまでら さいないん **紅葉** 11月下旬～12月上旬 **MAP G a-1**

當麻寺 西南院

さいないんほんどうとくべつかいちやう **西南院本堂特別開帳** **重文など**

11/23(水)・祝～11/30(水)

国宝・西塔を借景とする庭園が見事で、水琴窟(すいきんくつ)や美しい紅葉でも知られます。その本堂で万病消滅・富貴自在の仏様である本尊・十一面観音菩薩、聖観音菩薩、千手観音菩薩などが特別公開されます。(※今年度、十一面観音菩薩修復中)

所 葛城市當麻1263 ☎ 0745-48-2202

行 近鉄當麻寺駅から徒歩約15分

HP <http://taimadera-sainain.or.jp/>



三観音(重文) 写真：當麻寺 西南院

りやうせんじ **バラ** 10月～11月 **MAP F b-2**

靈山寺

やくしさんぞんぞう あきばら ひぶつほうもつてん **①薬師三尊像、秋薔薇と秘仏宝物展** **重文**

10/23(日)～11/13(日)、2023.1/1(日)・祝～1/3(火) ※正月は薬師三尊像のみ

さんじゆちやうしやうぞうとくべつかいひ **②三重塔初層特別開扉** **重文**

11/3(水)・祝

聖武天皇の勅願で行基が建立した古刹。1200坪あるバラ園の秋咲きにあわせて薬師三尊像や秘仏を公開。一日だけ公開の三重塔初層・極彩色壁画も見逃せません。

所 奈良市中町3879 ☎ 0742-45-0081

行 ●近鉄富雄駅から若草台行きバス「靈山寺」下車、徒歩約1分 ●近鉄富雄駅から徒歩約30分またはタクシー約8分

HP <http://www.ryosenji.jp/>



①十一面観音菩薩立像(重文) 写真：(株)飛鳥園

たいまでら おくのいん **紅葉** 11月下旬～12月上旬 **寒牡丹** 12月中旬～1月 **MAP G a-1**

當麻寺 奥院

つづれおり たいままだら へいせいぼんとくべつこうかい **①綴織 當麻曼陀羅 平成本特別公開** **③本尊・法然上人坐像**

11/1(火)～11/10(木) 2023.2/24(金) **重文など**

おおほうじゆふすま え とくべつこうかい **②大方丈襖絵特別公開**

11/19(土)～12/4(日)

浄土庭園が広がる奥院。中将姫が織ったとされる當麻曼陀羅を同じ手法で復元した當麻曼陀羅平成本や、上村淳之画伯の襖絵「花鳥浄土」などが特別公開されます。

所 葛城市當麻1263 ☎ 0745-48-2008

行 近鉄當麻寺駅から徒歩約15分

HP <http://www.taimadera.or.jp/>



①平成本・當麻曼陀羅(部分) 写真：當麻寺 奥院

たいまでら なかのぼう **紅葉** 11月下旬～12月上旬 **MAP G a-1**

當麻寺 中之坊

あき しほうてん **①秋の寺宝展** **②写佛道場「絵天井」特別公開**

10/10(月)・祝～11/30(水) 11/15(火)～11/30(水)

しんしんふくほうてん りんげんひつ べんざいてんじゆう ごどうじ **③新春福宝展：琳賢筆「弁財天十五童子」ご開帳**

2023.1/1(日)・祝～2/3(金)

写佛道場は4年に一度の特別公開。前田青邨、絹谷幸二、中島千波、上村淳之らの巨匠作品に、新たに村上裕二らの作品を加えた全150枚の天井画を一堂に。新春福宝展では、「弁財天十五童子図」(室町時代)や、寺宝「布袋尊百童子屏風」(江戸時代)が開帳されます。

所 葛城市當麻1263 ☎ 0745-48-2001

行 近鉄當麻寺駅から徒歩約15分

HP <https://www.taimadera.org/>



②写佛道場「絵天井」



奈良大和路の「秘宝・秘仏特別開帳」の情報は、「祈りの回廊」
公式ホームページでもご確認くださいませ。
<http://inori.nara-kankou.or.jp/>



◆ 朝のお参り・朝の勤行 ◆

一般参拝いただける朝のお参りと朝の勤行をご紹介します。

※祭典や行事などで実施されない場合がありますので、事前に各社寺にお問合せ下さい。

興善寺 P13 MAP A c-2 ☎ 0742-23-7007 ◎朝の勤行 ※要予約	石上神宮 P23 MAP E a-1 ☎ 0743-62-0900 ◎朝拝(ちょうはい) 午前8時半頃～
十輪院 MAP A c-2 ☎ 0742-26-6635 ◎朝の勤行 午前8時半～ 体験作務 午前8時～ ※月曜休(祝日の場合は翌火曜)、予約不要	金峯山寺 P17・23 MAP H c-2 ☎ 0746-32-8371 ◎蔵王堂 朝座勤行(あさざごんぎょう) ※御開帳期間のみ有料
朝護孫子寺 P15 MAP G b-2 ☎ 0745-72-2277 ◎修行代(しゅぎょうだい)(修法と勤行)	長谷寺 P17 MAP I a-1 ☎ 0744-47-7001 ◎朝の勤行 4月～9月 午前6時半～ 10月～3月 午前7時～ ※受付は30分前から、団体の場合は要予約
極楽寺 MAP E c-2 ☎ 0743-57-2231 ◎朝のお勤め、朝茶の会(法話とお茶) 午前8時～9時 ※要予約	

せっこうじ 寒牡丹 石光寺 12月上旬～1月中旬

MAP G a-1

みらくじょらい ひぶつ もくぞう にほんさいごのせきぶつかいちゆう 弥勒如来秘仏(木造)、日本最古の石仏開帳

2023.1/1(日)・祝～1/31(火) ※1日は正午から

當麻曼陀羅を織った中将姫ゆかりの「染の井」「糸掛桜」が現存する寺院。牡丹や寒牡丹、シャクヤクなどの花が四季を彩る境内で弥勒堂が開扉され、白鳳弥勒石仏と秘仏弥勒如来が開帳されます。



弥勒如来石仏 写真：石光寺

所 葛城市染野387
 ☎ 0745-48-2031
 行 近鉄二上神社口(にじょうじんしゃぐち) 駅から徒歩約13分
 ●近鉄当麻寺駅から徒歩約20分
 HP <https://sekkouji.or.jp/>

にょいりんじ 紅葉 如意輪寺 10月下旬～11月下旬

MAP H c-2

こだいごてんのうごれいでん 後醍醐天皇御霊殿

11/2(水)～11/18(金)

吉野に行宮を構えた(南朝)後醍醐天皇の勅願寺。御霊殿には後醍醐天皇御自作の木像、南朝歴代天皇の御尊牌(御位牌)が奉祀されています。後醍醐天皇ご生誕(11/2)にあわせて「菊まつり」も開催。



後醍醐天皇御自作の木像 写真：如意輪寺

所 吉野郡吉野町吉野山1024
 ☎ 0746-32-3008
 行 ●近鉄吉野駅からロープウェイ「吉野山」乗換、吉野大峯ケーブルバス「如意輪寺口」下車、徒歩約20分(※バス本数少ない) ●近鉄吉野駅から徒歩約40分またはタクシー約10分
 HP <https://nyoirinji.com/>

きんぶせんじ 金峯山寺

MAP H c-2

にほんさいだい ひぶつほんぞんこんごうざおうだいこんげん とくべつ かいちゆう 日本最大 秘仏本尊金剛蔵王大権現 特別ご開帳 重文

11/1(水)～11/30(水)

世界遺産登録の本堂・蔵王堂(国宝)に安置されている日本最大秘仏・金剛蔵王大権現三尊が国宝仁王門修理動進のため特別にご開帳されます。修験道の開祖・役行者が感得したと伝わる権現仏で、像高約7m。三尊とも青く採色された有難いお姿です。



秘仏金剛蔵王大権現像【中等】(重文) 写真：金峯山寺

所 吉野郡吉野町吉野山2498
 ☎ 0746-32-8371
 行 近鉄吉野駅から徒歩約30分またはロープウェイ「吉野山」下車、徒歩約10分
 HP <https://www.kinpusen.or.jp/>

えいさんじ 萩 薬師 11月中旬～12月上旬

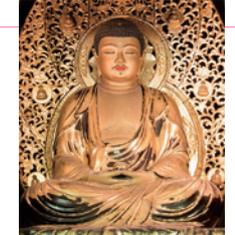
MAP I a-2

ほんぞん やくしにょらいござう ①本尊・薬師如来坐像 重文

はっかくえんどうないないじんぞうしよくが とくべつはいかん ②八角円堂内陣装飾画特別拝観 国宝など

①②10/25(水)～11/27(日)

藤原不比等の長男・武智麻呂が創建。内陣に天平時代の極彩色壁画が残る国宝・八角円堂は、法隆寺夢殿と並ぶ貴重な天平建築として優美な姿を見せてくれます。



①本尊・薬師如来坐像(重文) 写真：薬師寺

所 五條市小島町503 ☎ 0747-24-5557
 行 ●JR五條駅から八木駅(南)行きバス「薬師寺口」下車、徒歩約10分(※バス本数少ない) ●JR五條駅から徒歩約25分またはタクシー約5分
 HP <https://www.eisanji.com/>

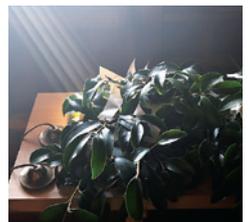
さくらもとぼう 櫻本坊

MAP H c-2

てんむてんのうごしんぞう とくべつ かいちゆう 天武天皇御神像 特別ご開帳

11/12(土)～11/20(日)

万葉の時代、天武天皇が建立。天武天皇・持統天皇の勅願寺。修験道根本道場。神仏習合の象徴ともいえる天武天皇の御神像が特別ご開帳。宝聚堂(宝物殿)も開扉され、地藏大菩薩坐像(重文)、蔵王権現鏡像(平安時代)などの寺宝が拝観できます。



構 写真：櫻本坊

所 吉野郡吉野町吉野山1269
 ☎ 0746-32-5011
 行 近鉄吉野駅から徒歩約40分またはタクシー約10分
 HP <https://sakuramotobou.or.jp/>

むろうじ 紅葉 室生寺 10月下旬～12月中旬

MAP I d-1

こんどうとくべつはいかん 金堂特別拝観 国宝など

10/29(土)～12/4(日) ※期間中拝観された方には特別懐中御守護を授与

平安初期建立の国宝の金堂。通常拝観では立ち入ることのできない外陣にお入りいただきいつもより近い距離で国宝釈迦如来立像、重文薬師如来像、文殊菩薩像、十二神将をご拝観していただけます。時間は不定期ではありますが僧侶がご案内いたします。(ご案内の時間に関しましては金堂入り口にて表記いたします。)



金堂(国宝) 写真：室生寺

所 宇陀市室生78 ☎ 0745-93-2003
 行 近鉄室生口大野駅から室生寺行きバス終点下車、徒歩約5分
 HP <http://www.murouji.or.jp/>

はせでら 紅葉(もみじ回廊10/8～12/11まで開催) 寒牡丹 長谷寺 10月下旬～12月中旬 12月上旬～2月中旬

MAP I a-1

ほんぞんだいかなん じゅういちめんせきおんぼさつりょうざう とくべつはいかん 本尊大観音(十一面観世音菩薩立像) 特別拝観 重文

10/8(土)～12/11(日)

日本最大級の木造仏、本尊・十一面観世音菩薩立像。普段は尊顔のみの拝観ですが、特別拝観では、お御足に触れてご縁を結んでいただけます。



①本尊・十一面観世音菩薩立像(重文) 写真：長谷寺

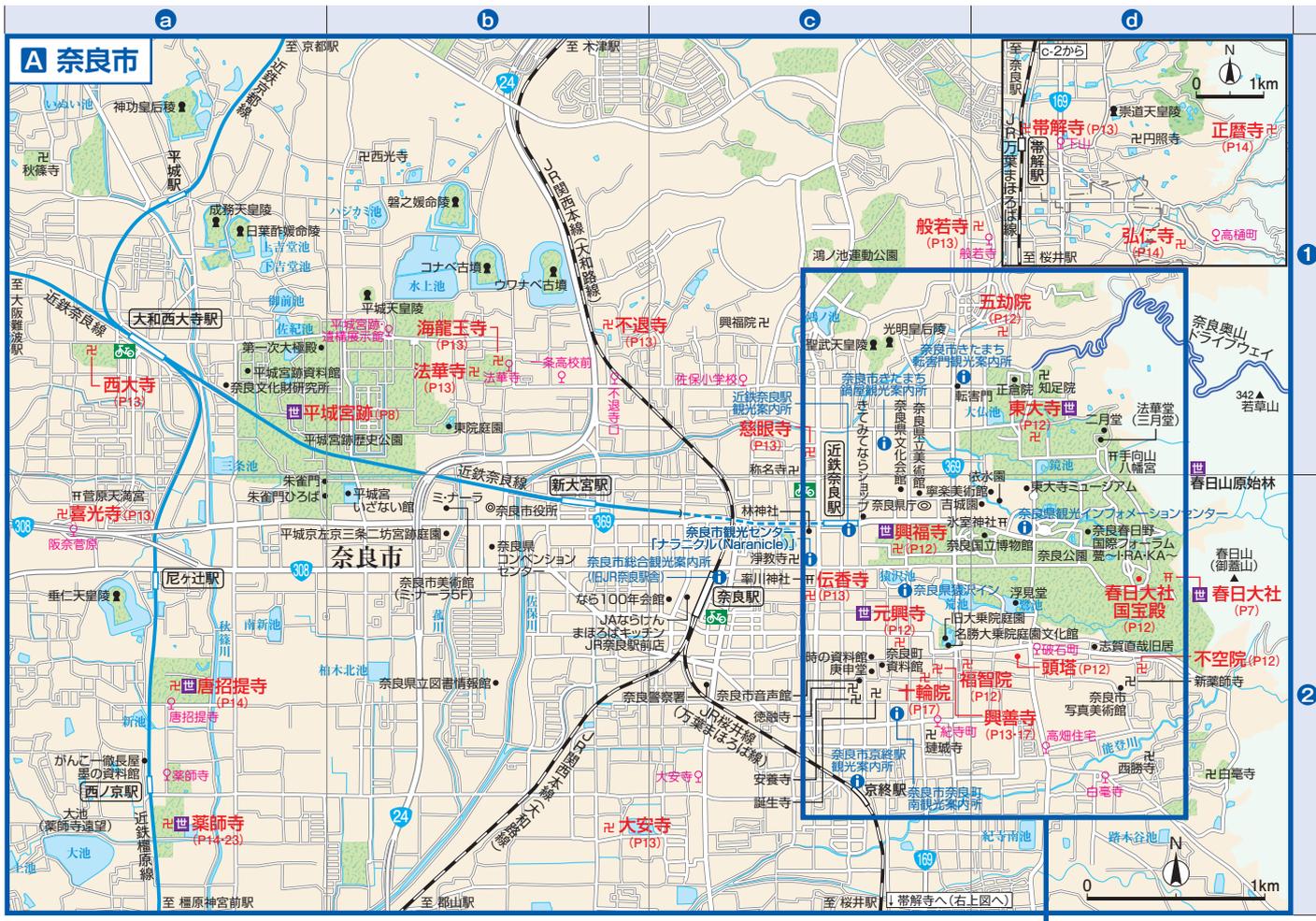
所 桜井市初瀬731-1
 ☎ 0744-47-7001
 行 近鉄長谷寺駅から徒歩約15分
 HP <https://www.hasedera.or.jp/>

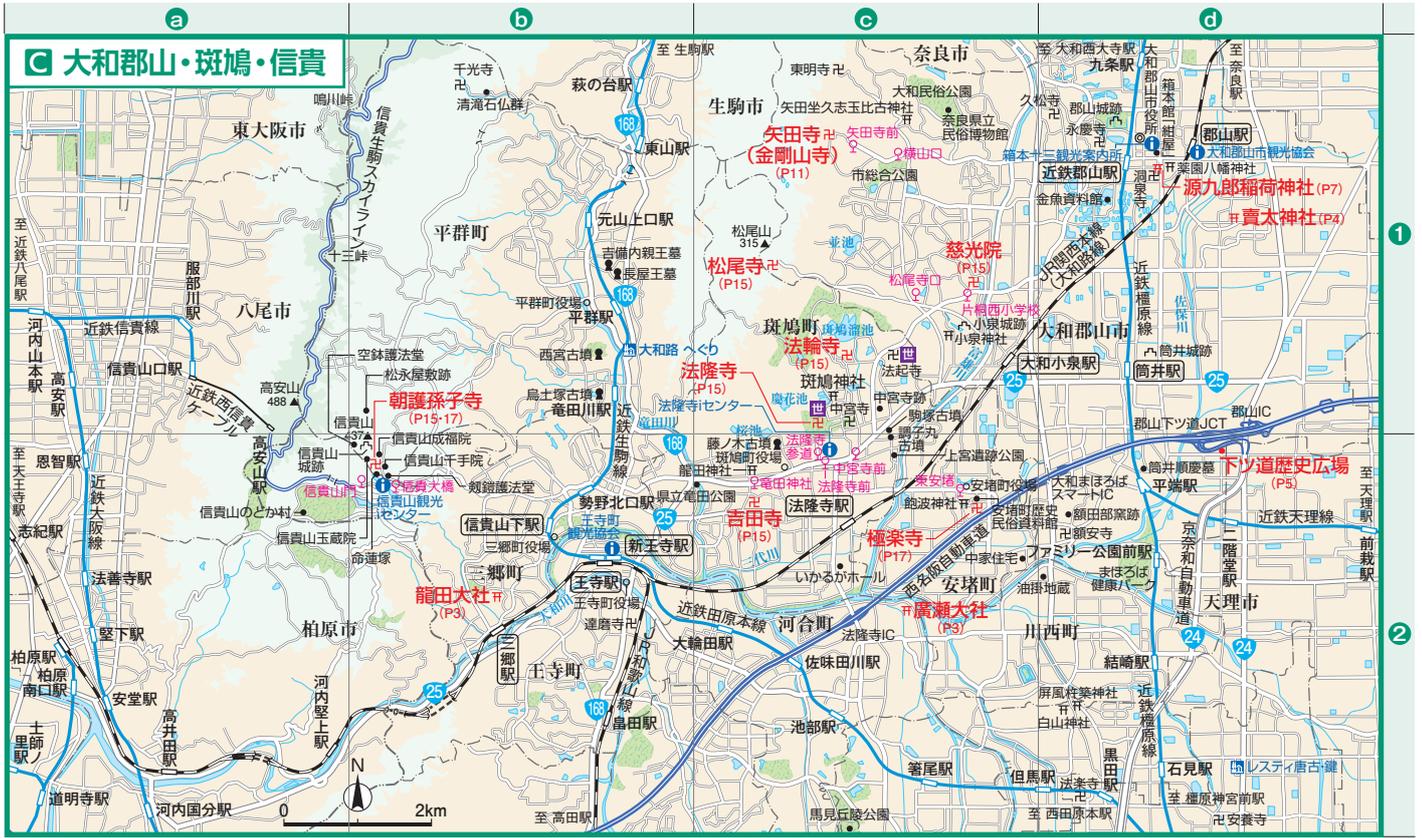
【金剛寺 ① a-2】星供曼荼羅、星祭り九曜星本尊：2023.2/3(金) 【法起院 ① a-1】長谷庚申 秘仏青面金剛像：10/29(土)～11/6(日)

吉野山ロープウェイは、金・土・日・月曜日のみ運行(11/1(水)～11/30(水)は毎日運行)。火・水・木曜日は、ケーブル代行バスが運行。運行情報や時刻表は下記にお問い合わせ下さい。

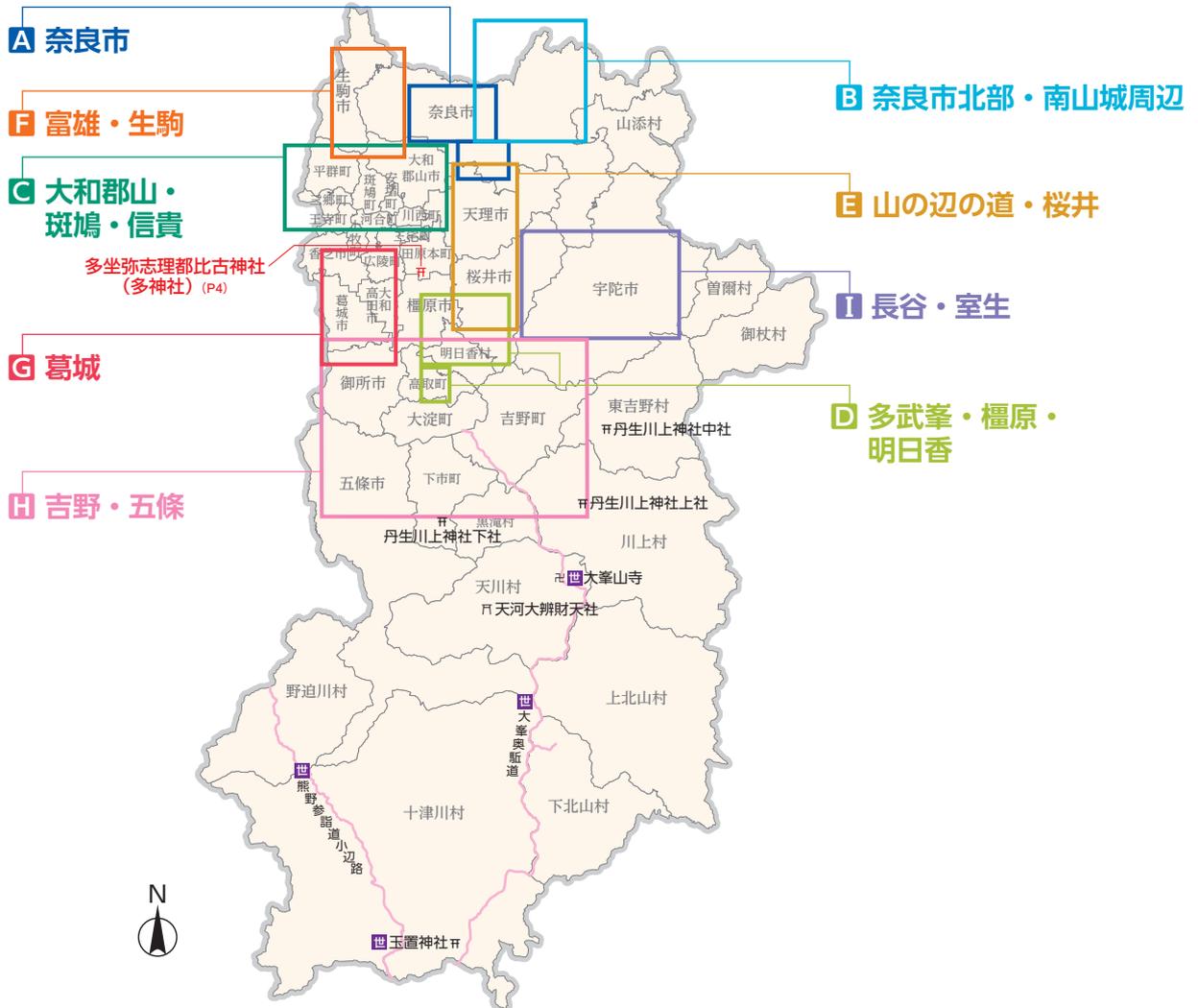
④ 吉野大峯ケーブル自動車(車) ☎ 0746-39-0010

新型コロナウイルスの影響により、行事の中止や、日時の変更、予約・入場制限等の開催概要が変更になる場合があります。









エリア	社寺名	掲載頁/地図	主な特別開帳内容	9月	10月	11月	12月	2023年1月	2月	3月
A 奈良市	春日大社 国宝殿	P12 A d-2	特別展 春日若宮式年造替奉祝 杉本博司「春日神霊の御生 御蓋山そして江之浦(国宝など)」				12/23~1/29		1/31~3/13	
	興福寺	P12 A c-2	特別公開2022 一重塔初層特別公開一(国宝)		9/17~10/16					
	福智院	P12 A c-2	国宝十一面観音菩薩立像	10/17~10/23		11/1~11/7			3/17~3/23	
	元興寺	P12 A c-2	①板絵智光曼荼羅特別開扉 ②秋季特別展『袋中上人と山の寺 念仏寺』				10/22~11/13 10/22~11/13			
	不空院	P12 A d-2	本尊・不空羂索観音菩薩坐像など(重文など)	10/17			10/29~11/14			
	五劫院	P12 A d-1	涅槃図・五劫思惟阿彌陀仏坐像(重文)					2/5~2/15		
	東大寺	P12 A d-1	①僧形八幡神坐像(国宝)《勤進所八幡殿》、五劫思惟阿彌陀如来坐像(重文)《勤進所阿彌陀堂》、公慶上人坐像(重文)《公慶堂》 ②良弁僧正坐像(国宝)《開山堂》、執金剛神立像(国宝)《法華堂》、重源上人坐像(国宝)、阿彌陀如来立像(重文)、愛染明王坐像(重文)《俊乗堂》		10/5 ※観音会 ※秘仏はいずれも法要終了後に特別開帳されます。			12/16 ※良弁忌 ※秘仏はいずれも法要終了後に特別開帳されます。		
	頭塔	P12 A d-2	史跡頭塔、頭塔石仏など(重文)				10/29~11/14			
	般若寺	P13 A d-1	白鳳秘仏寺宝特別公開(重文など)				10/29~11/13			
	帯解寺	P13 A d-1	①秘仏・秘宝特別公開(重文など) ②令和5年春 秘仏公開(重文など)				11/7~11/13		3/6~3/15(予定)	
	大安寺	P13 A b-2	①本尊・十一面観音菩薩立像(重文) ②秘仏・馬頭観音菩薩立像(重文)				10/1~11/30		3/1~3/31	
	不退寺	P13 A b-1	在原業平朝臣画像、寺宝特別展				10/1~11/30		3/1~5/31	
	海龍王寺	P13 A b-1	十一面観音菩薩立像、寺宝展(重文など)				10/25~11/14		3/23~4/7(予定)	
	法華寺	P13 A b-1	①十一面観音菩薩立像(国宝など) ②絹本着色阿彌陀三尊および童子像(慈光殿)(国宝など)				10/25~11/14		3/20~4/7	
	喜光寺	P13 A a-2	弁天堂神影 宇賀神(秘仏)				1/1~1/15			
	西大寺	P13 A a-1	愛染明王坐像(愛染堂)、聚宝館特別公開(国宝)(重文など)				10/25~11/15		1/15~2/4	
	興善寺	P13 A c-2	①観経曼陀羅拜観 ②涅槃図拜観	9/20~9/26 ※要予約					3/18~3/24 ※要予約	
	慈眼寺	P13 A c-1	聖観世音菩薩					2/5 ※初午		3/1 ※二の午
	伝香寺	P13 A c-2	本尊・釈迦如来坐像、南無仏太子像、地藏菩薩立像納入品、筒井家関連書状							3/12
	正暦寺	P14 A d-1	秘仏・薬師如来倚像(重文など)	11/3~12/4 ※本堂にて				12/22 ※瑠璃殿(収蔵庫にて)		
弘仁寺	P14 A d-1	①秘仏本尊・虚空蔵菩薩像 ②唐草文三足双耳香炉(奈良市指定文化財)				11/1~11/30(拝観は午後1時より)	11/1~11/30(拝観は午後1時より)			
薬師寺	P14 A a-2	①女装三蔵院加藍 大唐西域壁画殿特別公開、食堂特別公開、国宝東塔水煙公開(西僧坊)(国宝など) ②西塔初層内陣 東面開扉		9/16~11/30		1/1~1/8	3/1~6/30			
唐招提寺	P14 A a-2	③吉祥天女画像特別公開(国宝・平成本吉祥天)(国宝) 金龜舍利塔(国宝)、釈迦如来立像(重文)など《礼堂》	1/1~1/3 [国宝]、1/4~1/15 [平成本吉祥天]							
B 奈良市 北部・ 南山城 周辺	岩船寺	P14 B a-2	①秘宝秘仏特別公開 ②三重塔初層特別開扉(重文) ※雨天・荒天時は塔開扉中止の場合あり ③秘仏特別公開		10/1~11/30			10月・11月の毎週土日祝	1/1~1/15	
	浄瑠璃寺	P14 B a-2	①秘仏・吉祥天女立像(重文) ②三重塔初層開扉(国宝)・薬師如来坐像(重文) ※ただし好天の日に限る ③大日如来坐像など《灌頂堂》	毎月8日	10/1~11/30		10/29~11/6	1/1~1/3、1/8~1/10	1/8~1/10	
	海住山寺	P14 B a-1	①五重塔特別開扉(国宝など) ※荒天時は塔開扉中止の場合あり ②寺宝特別公開(重文など)				10/29~11/6 10/29~11/27			
	現光寺	P14 B a-1	本尊・十一面観音坐像(重文)		11/3	11/5・6				
	法隆寺	P15 C c-1	①夢殿秘仏・救世観音菩薩立像(国宝) ②上御堂(釈迦三尊像)(国宝など)				10/22~11/22 11/1~11/3			
C 大和郡山 斑鳩 信貴	松尾寺	P15 C c-1	①千手観音像トルソー(秘仏・奈良時代)、舎人親王像(本堂) ②秘仏本尊・厄除観音(厄除千手眼観世音菩薩立像)			11/3		~12/25		
	朝護孫子寺	P15 C b-2	①信貴山縁起絵巻特別公開「尼公の巻」(国宝) ②奥秘仏毘沙門天王像御開帳 ※開帳時間は9時~16時になります※御前様中はお待ちいただくこととなります		10/1~10/11			10/8~11/23		
	吉田寺	P15 C c-2	多宝塔(重文) 初層・大日如来坐像				11/1~11/3			
	法輪寺	P15 C c-1	秋季特別展 妙見堂特別公開と秘仏妙見菩薩像御開帳				11/1~11/7			
	慈光院	P15 C c-1	本堂天井鳴き籠					1/1~1/3		
D 多武峯 福原 明日香	聖林寺	P15 D b-1	①秘宝・マンダラ展 ②秘仏・宝蔵天、秘仏・弁財天				11/1~11/30		1/1~1/3	
	おふさ観音	P15 D a-1	秘宝・生き人形 ①観音大めがねくぐり				10/19~11/30			
	壺阪寺 (南法華寺)	P15 D a-2	②壺阪観音お身拭い特別結縁参拝 ③三重塔・多宝塔初層同時開扉 ④納め観音 秘仏・子鳥荒神御開帳				10/8~12/4 10/8~12/4	12/18(午後1時30分~4時30分)		
	橘寺	P15 D a-2	聖倉庫(収蔵庫)特別公開(重文など) ※拝観は外からになります			10/8~11/6				
	岡寺	P15 D b-2	①本堂内々陣お屏特別開扉(重文) ②三重塔初層壁画扉絵特別公開		10/16		10/8~12/11			
E 山の辺の道・桜井	談山神社	P16 D b-2	多武峯に伝わる摩多羅神面と鼓	10/29~11/27			※11/9※を除く(ライトアップ:11/18~11/27)			
	安倍文殊院	P16 B a-2	金閣浮御堂霊宝館 寺宝展(国宝など)		秋:9/1~11/30、冬:12/1~2023.2/28					
F 高雄・生駒	長岳寺	P16 B a-1	大地獄絵開帳				10/23~11/30			
	寶山寺	P16 B a-2	獅子閣(重文)			10/8~10/10				
G 葛城	靈山寺	P16 B b-2	①薬師三尊像、秋蕾薇と秘仏宝物展(重文) ②三重塔初層特別開扉(重文)	10/23~11/13				1/1~1/3 ※正月は薬師三尊像のみ		
	當麻寺 西南院	P16 G a-1	西南院本堂特別開帳(重文など)				11/23~11/30			
	當麻寺 中之坊	P16 G a-1	①秋の寺宝展 ②写佛道場「絵天井」特別公開 ③新春福宝展:琳賢筆「弁財天十五童子」ご開帳				10/10~11/30 11/15~11/30		1/1~2/3	
	當麻寺 奥院	P16 G a-1	①綴織 當麻曼陀羅 平成本特別公開 ②大方丈樓絵特別公開 ③本尊・法然上人坐像(重文など)			11/1~11/10	11/19~12/4		2/24	
H 吉野 五條	石光寺	P17 G a-1	弥勒如来秘仏(木造)、日本最古の石仏開帳		1/1~1/31 ※1日は正午から					
	金峯山寺	P17 G c-2	日本最大 秘仏本尊金剛藏大王権現 特別公開(重文)				11/1~11/30			
	如意輪寺	P17 G c-2	後醍醐天皇御聖殿				11/2~11/18			
	櫻本坊	P17 G c-2	天武天皇御神像 特別公開				11/12~11/20			
	榮山寺	P17 G a-2	①本尊・薬師如来坐像(重文) ②八角円堂内陣装飾画特別拝観(国宝など)				10/25~11/27 10/25~11/27			
I 長谷 室生	金剛寺	P17 G a-2	星供曼荼羅、星祭り九曜星本尊						2/3	
	長谷寺	P17 I a-1	本尊大観音(十一面観世音菩薩立像)特別拝観(重文)				10/8~12/11			
	室生寺	P17 I d-1	金堂特別拝観(国宝など) ※期間中拝観された方には特別懐中御守護を授与				10/29~12/4			
法起院	P17 I a-1	長谷庚申 秘仏青面金剛像				10/29~11/6				



奈良うまし冬めぐり

冬だけのとっておきの奈良へ

2022年12月～2023年3月

薬師寺 (やくしじ)

MAP P18 A-a-2 奈良市

ライトアップされた静やかな空間を特別拝観

暗闇の中、ライトアップで浮かび上がる薬師寺。通常17時に閉門される境内を特別に夜間拝観。僧侶のご案内のもと薬師三尊の金堂、中村晋也氏作・ブロンズの釈迦四相像が納められた西塔内陣を参拝。ご献灯もさせていただきます。

開催日 2022年12/10(土)、12/23(金)、2023年1/20(金)、1/28(土)、2/11(土・祝)、2/24(金)、3/10(金)、3/20(月) 17:30～(所要時間:約60分)

参加費 4,000円 **最少催行人数** 10名



夜の金堂薬師三尊

石上神宮 (いそのかみじんぐう)

MAP P19 E-a-1 天理市

最古の宮の国宝拝殿に昇段 禁足地の特別拝観も!

日本最古の神社の一つ、石上神宮。本プランでは通常昇段できない拝殿にて参拝。大神様の鎮座地であり、一般には踏み入れることのできない禁足地を間近から特別拝観していただきます。

開催日 2022年12/1(木)～2023年3/31(日)
(除外日:12/4、12/8、12/11、12/17、12/24～12/31、1/1～1/10、1/15、2/1～2/5、2/11、2/12、2/19、2/23、3/1、3/5、以下の午前中12/1、12/3、12/15、12/18、1/21、2/15、3/11、3/12、3/15、3/19、3/21、3/23、3/25、3/28)
※1日2回実施 10:00～、13:00～(所要時間:約60分)

参加費 1,500円 **最少催行人数** 1名



朱色が美しい廻廊

當麻寺奥院 (たいまであくのいん)

MAP P20 G-a-1 葛城市

綴織當麻曼陀羅絵説き国宝・重文當麻寺伽藍巡り

奥院綴織當麻曼陀羅を特別公開いただき、1250年前の超絶技法で再現された唯一の写本を用いて、僧侶によるわかりやすい絵説きを拝聴。その後、境内の国宝・重要文化財を僧侶のご案内でめぐっていただきます。

開催日 2023年1/8(日)、1/28(土)、2/11(土・祝)、2/12(日)
13:40～(1/28のみ午前10:00～)(所要時間:約100分)

参加費 大人:2,000円 小学生:1,000円

最少催行人数 5名



奥院綴織當麻曼陀羅

聖林寺 (しょうりんじ)

MAP P19 D-b-1 桜井市

国宝・十一面観音様に十句観音経を奉納

国宝十一面観音立像の御堂完成を記念し、42文字の最も短い経典「十句観音経」の写経を奉納していただきます。その後、お寺の方のご説明を拝聴。仏像彫刻の優作・十一面観音様を自由参拝。十一面観音様の特別御朱印・御影写真付き。

開催日 2023年1/13(金)、1/14(土)、1/18(水)、1/25(水)、1/27(金)、2/10(金)、2/11(土・祝)、2/13(月)、2/14(火)、2/17(金)、2/18(土)、2/23(水・祝)、2/25(土)、3/3(金)、3/4(土)、3/11(土)、3/13(月)、3/14(火) 14:15～(所要時間:約90分)

参加費 ¥6,600 **最少催行人数** 2名



十句観音経と御影写真

壺阪寺 (つぼさかであら)

MAP P19 D-a-2 高取町

おひな様を並べて大雛曼荼羅をつくろう!

毎年3月に3000体以上のお雛様を、本尊十一面千手観音様前や講堂にお祀りする壺阪寺の大雛曼荼羅。おひな様に道具をつけるなど、僧侶と一緒に大雛曼荼羅を飾るお手伝いをします。奈良ならではの行事でのご奉仕プランです。

開催日 2023年2/11(土・祝)
10:00～(所要時間:約150分 終了後の昼食付)

参加費 2,500円(インドカレーランチ付)

最少催行人数 3名



本尊前のお雛様

金峯山寺 (きんぶせんじ)

MAP P20 H-c-2 吉野町

金峯山寺 修験僧侶(山伏)と金峯山寺内諸堂一日ミニ修行

修験僧侶(山伏)と金峯山寺内の諸堂を修行。護摩供や法話を拝聴しながら巡ります。昼食は精進料理で宿坊にて食事作法(じきじさほう)を体験していただきます。蔵王権現さまの御神木「桜ストラップ」進呈。

開催日 2023年2/26(日)、3/4(土)
10:30～(所要時間:約300分)

参加費 5,500円(精進料理付き)

最少催行人数 10名



蔵王堂での護摩供

お申し込み・お問い合わせ

ご参加には**事前にお申し込み**が必要です。(開催日の4日前までにお申し込みください。)

最少催行人数に満たない場合、開催日の10日前に中止とすることがあります。

※全コース、神職や僧侶のご案内付き。 ※行事等により催行中止になる場合があります。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、スケジュール・内容等変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

TEL: 0742-81-8680 9:00～17:00 (土日祝・年末年始除く)

うまし奈良めぐり実行委員会事務局 (奈良県ビクターズビューロー内)

詳しくは、

[うまし奈良めぐり](#)

[検索](#)

他にも
特別企画が
盛りだくさん!



『祈りの回廊』読者プレゼント!!

応募期間 2022年10月1日～2023年2月28日まで

皆様のご感想・ご意見を今後の参考にさせていただくために本誌アンケートへのご協力をお願いします。
アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で「祈りの回廊 オリジナル筆箋」をプレゼント!!

【動作条件】●ご利用端末に応じて以下のブラウザでアクセスください。『iOS (iPhone iPad)=Safari』『Android=Chrome』●リーダーアプリをご利用の場合はアプリ内ブラウザを選択せず、上記ブラウザをご利用ください。●上記ブラウザを使用しても正常に動作しない場合は、『シークレットモード/プライベートモードを解除』『cookieとJava scriptをオン』の状態でごアクセスいただきますようお願いいたします。

アンケートはこちら



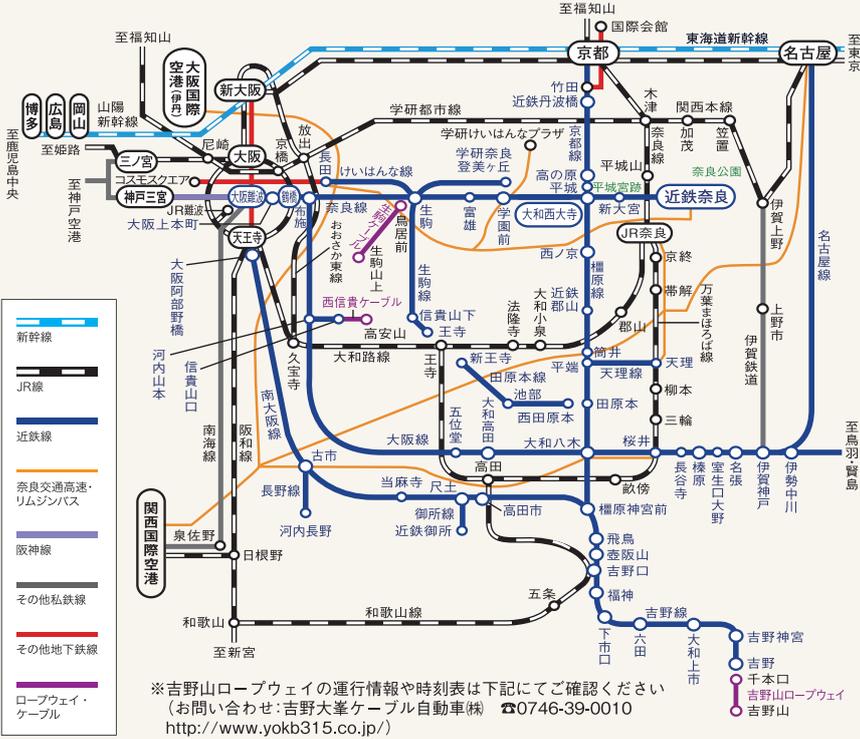
抽選で 祈りの回廊
オリジナル筆箋
プレゼント!!



https://qlear.cloud/kspkk/inori_22akihuyu

※画像はイメージです。実際の商品とは異なる場合があります。

奈良アクセスガイド



❖大和路秀麗❖

八十八面観音霊場の法話会

大和路秀麗八十八面観音霊場の法話会は法華寺・西大寺・海龍王寺・大安寺・法輪寺・聖林寺・長谷寺・室生寺の八か寺の十一面観音菩薩を巡拝する霊場会です。令和4年秋の法話会を下記のとおり開催します。法話会にご参加いただき、十一面観音菩薩の慈悲の心を感じてください。(事前申込制、有料)



日時: 令和4年11月23日(水・祝)
 午後2時30分より(受付は午後2時より)
講師: 奈良国立博物館名誉館員 西山厚先生
場所: 室生寺(住所) 奈良県宇陀市室生78 (電話) 0745-93-2003
参加費: 2,500円(入山料、寶物殿拝観料共)
定員: 50名(先着順)
申込方法:
 往復はがきに①住所②氏名(ふりがな)③電話番号④申込人数を明記の上、10月31日までに次の宛先までお申し込みください。
 宛先: 〒633-0421 奈良県宇陀市室生78 室生寺「大和路秀麗八十八面観音霊場の法話会」係宛
 ※復路(返信はがき)にご自身の住所・宛名を記入漏れのないようお書きください。当選のお知らせは返信はがきにいたします。申込人数は、はがき1枚につき2人までとなります。お申し込みは**往復はがきのみ**とさせていただきます。

●JR西日本 おトクなきっぷ情報

JRのきっぷは駅に行かずにネットで予約。

- ますます選べるおトクなきっぷ! ●チケットレスサービスでさらにペンリに!
- 見やすい画面でスムーズ予約! ●コンビニなどで現金払いが可能!

さらにJ-WESTカードにご入会いただくと、
 eきっぷなど会員限定の
 おトクなきっぷをご利用いただけます!

列車時刻やおトクなきっぷなどのご利用条件等、詳しくはJR西日本の主な駅のパンフレットまたは[JRおでかけネット](#) [検索](#) でご確認ください。

時刻・運賃・商品情報などのお問い合わせは
 JR西日本お客様センター TEL.0570-00-2486
 6:00~23:00 年中無休(固定電話からは市内通話料でご利用可能です。)

●近鉄のおトクな情報

わたしは、奈良派。

知っているつもりで訪ねると、
 知らない物語がいっぱい。
 奈良の旬なおでかけ情報をお届けします。

公式Instagram
@watashiha_naraha_official

公式Webサイト

おでなきっぷ情報 近鉄電車往復乗車券とフリー区間の近鉄電車・奈良交通バスが自由に乗換できるきっぷを割引セット。

近鉄電車テレフォンセンター 050-3536-3957 / 8:00-21:00 / 年中無休

近鉄 きっぷ情報 [検索](#)

20年に一度 春日大社 若宮式年造替 正遷宮

今年の秋、美しく甦った若宮様の御本殿を中心に様々なお祝いの行事が行われます。
 和国の総鎮守・春日大社の若宮にぜひお参りください。

主な奉祝行事(予定) [予約不要](#)・雨天決行

春日若宮お砂持ち

10月1日(土)~10日(月・祝)

午前10時・11時、午後1時・2時

- 受付場所 着到殿前テント
- 参加費 2,000円(若宮御造替奉賛金として)

通常非公開の御本殿を囲む内院に白砂を収めていただき、御本殿を間近でご拝観いただけます。
 ※工事日程が延長した場合、中止になることがあります。

奉祝万燈籠

11月5・12・19・26日

毎週土曜日

- 点灯時間 午後5時30分~午後8時

若宮を中心に境内の多くの燈籠に浄火を灯してお参りいただけます。
 大宮(御本社)・若宮両御本殿も合わせてご参拝いただけます。

若宮御造替八日間初まり

10月30日(日)~11月6日(日)

- 午前9時~午後4時

これまで閉ざされていた神楽殿の石段を初めて公開し、特別にお参りいただけます。
 ※10月30日~11月1日および3日は午後のみ開催。

お問合せ/春日大社 社務所 TEL 0742-22-7788 詳しくは [春日大社](#) [検索](#)

祈りの回廊 <http://inori.nara-kankou.or.jp/> 奈良県観光[公式サイト]あをによし なら旅ネット <http://yamatoji.nara-kankou.or.jp/>

奈良県観光局 観光プロモーション課 〒630-8501 奈良市登大路町30番地 TEL:0742-27-8482 FAX:0742-27-3510

※当該掲載の写真・図版・記事等の無断複写・転載を禁じます。 ※本記事内容は2022年8月現在のものであり、内容が変更となる場合があります。